

I-2 日本人の国内旅行

1 2021年の概況

国内旅行市場はさらに縮小

(1) 国内旅行者の動向

観光庁の「旅行・観光消費動向調査」によると、2021年の宿泊をとまう国内延べ旅行者数は1億4,177万人回、前年比11.8%減となった(表I-2-1)。いずれの目的においても、宿泊者数は前年比減となり、観光・レクリエーション(以下、観光)は前年比13.3%減、帰省・知人訪問等は同7.0%減、出張・業務は同15.2%減であった(表I-2-1)。

宿泊旅行市場の半数以上のシェアを占める観光旅行では、延べ旅行者数は7,961万人回(前年9,183万人回)、国民1人当たりの旅行平均回数は0.63回/人(同0.73回/人)、国民1人当たりの平均宿泊数は1.0泊/人(同1.2泊/人)となり、いずれの指標も前年をさらに下回った。

国内延べ日帰り旅行者数も前年比4.7%減となったが、出張・業務目的は同11.9%増と増加に転じた(表I-2-1)。

(2) 主な要因

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、2021年の国内旅行市場は前年の大幅な縮小から回復が叶わず、停滞が続い

た。全国や特定都道府県等を対象とした緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が1月初旬から断続的に適用された。7月には「東京2020オリンピック・パラリンピック」が、1年の延期を経て無観客で開催された。9月に入りようやく緊急事態宣言が全国的に解除となったが、年末にかけて出現した新たな変異株の影響により年明け以降は新規感染者数の増大傾向が続いた。2021年の3/4は行動制限下にあり、感染の拡大を防止しながら社会経済活動を維持する、いわゆる「新しい生活様式」での暮らしを余儀なくされた。旅行市場は、ワクチン接種や新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の感染状況に応じて変動を見せてきたが、本格的な回復の見通しが立たない状況が続いた。

年末にかけて出現した新たな変異株の影響により年明け以降は新規感染者数が増大したものの、2022年1~3月の国内宿泊観光旅行における延べ旅行者数は、前年同期比45.2%増(前々年同期比28.1%減)となった。(観光庁「旅行・観光消費動向調査」速報)。7月からの感染急拡大により8月現在でも1日当たりの新規感染者数は過去最多を更新し、未だ収束の兆しが見えないが、変異株対応ワクチンの接種や行動制限の緩和等により、今後の市場回復が期待される。

表 I-2-1 日本人の国内延べ旅行者数の推移

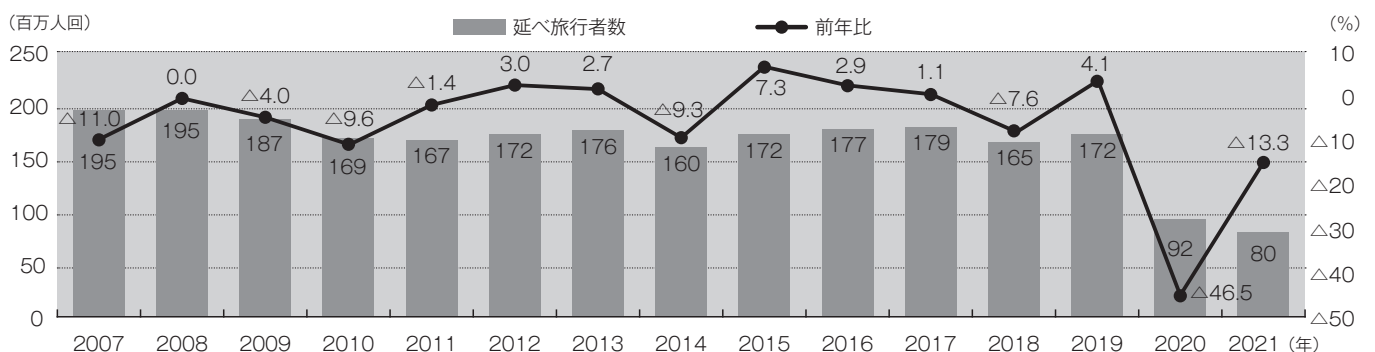
(単位：千人回)

	宿泊旅行						日帰り旅行									
	観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務		観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務					
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)					
2017年	323,328	△0.7	178,615	1.1	90,425	△3.0	54,288	△2.7	324,182	2.8	207,575	△0.6	52,774	3.2	63,833	15.0
2018年	291,052	△10.0	165,010	△7.6	79,798	△11.8	46,245	△14.8	270,727	△16.5	188,850	△9.0	40,018	△24.2	41,859	△34.4
2019年	311,624	7.1	171,727	4.1	85,696	7.4	54,201	17.2	275,478	1.8	196,347	4.0	40,974	2.4	38,157	△8.8
2020年	160,703	△48.4	91,832	△46.5	45,998	△46.3	22,872	△57.8	132,705	△51.8	89,369	△54.5	23,373	△43.0	19,964	△47.7
2021年	141,768	△11.8	79,608	△13.3	42,769	△7.0	19,392	△15.2	126,440	△4.7	83,878	△6.1	20,222	△13.5	22,340	11.9

(注)各年の値は年間確報による。それぞれの調査結果は観光庁ホームページより(2022年7月8日時点)

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-1 日本人の国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数の推移



(注)延べ旅行者数の値は、2007~2009年は国民1人当たりの旅行平均回数(回/人)に7月1日時点の推計人口(人)を乗じた値。2010年以降は観光庁確定値

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

(3) 宿泊旅行者の内訳

●性・年代別(表I-2-2、図I-2-2)

2021年の国内宿泊旅行はほとんどの性・年代でマイナスとなり、特に、男性50～70代と女性60～70代は前年比2～3割減となり、他年代に比べて減少した。前々年比で見ると、男女ともに60～70代の減少が6割と大きい。目的別にみると、特に減少幅が大きかったのは、男性50代の観光および出張・業務(そ

れぞれ約190万人減)、女性60～70代の観光(各年代約130万人減)、女性20代の観光(約120万人減)であった。一方、男性若年層の宿泊旅行全体をみると前年に比べ旅行者数が増えており、10代は16.3%増、20代は2.7%増となった。10代は観光、20代は帰省・知人訪問等での増加幅が大きい。観光に絞ってみると、最も旅行をした年代は男女ともに20代であった。しかしながら、その20代においても、前年比1割減となった。

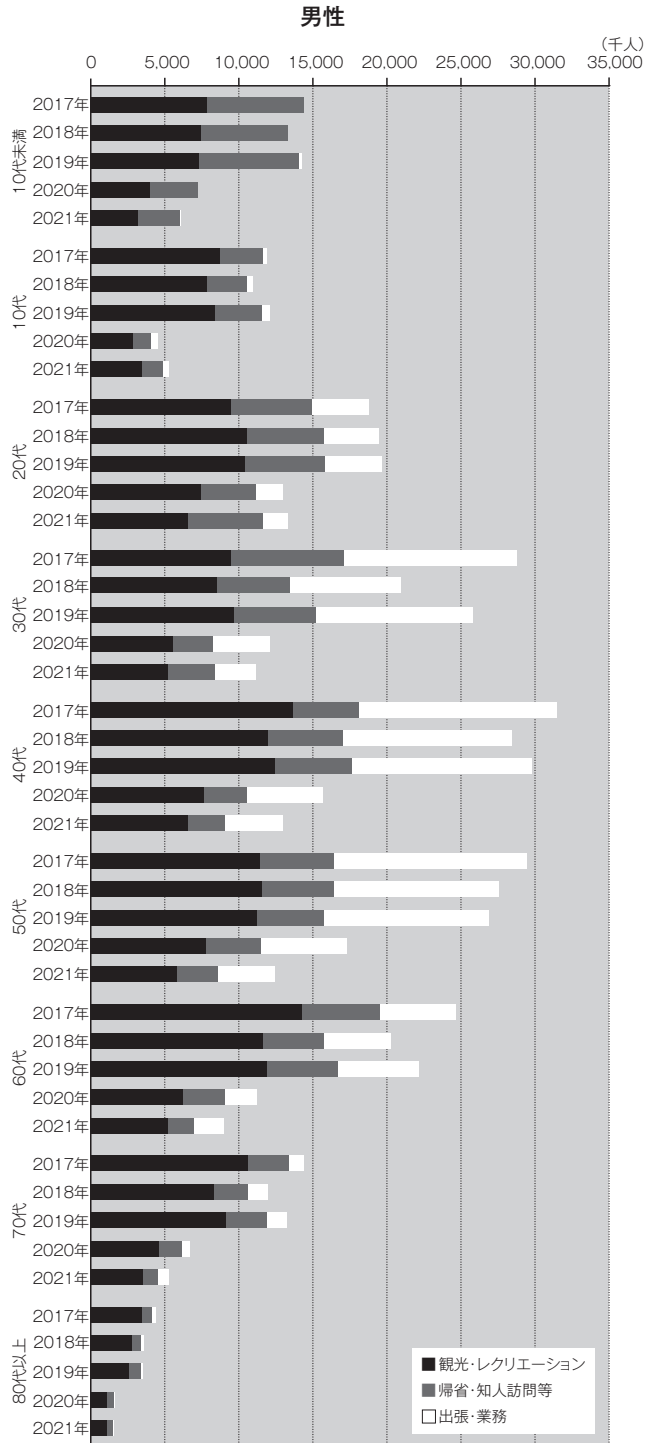
表 I-2-2 性・年代別日本人国内宿泊旅行者数(2021年)

男性		年代									全体
		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	5,924	5,163	13,043	10,902	12,680	12,169	8,800	5,129	1,530	75,341
	前年比(%)	△15.9	16.3	2.7	△8.0	△17.3	△28.0	△19.6	△21.5	△4.7	△13.7
	前々年比(%)	△57.6	△56.5	△32.3	△56.8	△56.9	△53.8	△59.4	△60.5	△55.6	△54.1
	旅行平均回数(回/人)	1.21	0.92	2.00	1.55	1.40	1.44	1.17	0.68	0.35	1.24
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,124	3,416	6,408	5,089	6,381	5,689	5,116	3,445	1,071	39,739
	前年比(%)	△20.5	20.9	△12.1	△6.2	△14.8	△25.3	△15.8	△23.6	△1.3	△14.1
	前々年比(%)	△56.0	△58.4	△37.1	△46.3	△47.4	△48.1	△55.9	△61.5	△56.9	△51.0
	旅行平均回数(回/人)	0.64	0.61	0.98	0.72	0.70	0.67	0.68	0.46	0.25	0.65
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,772	1,352	4,951	3,154	2,497	2,760	1,756	984	401	20,627
	前年比(%)	△11.0	14.9	38.6	20.6	△11.8	△23.7	△37.5	△36.0	△15.0	△5.2
	前々年比(%)	△58.3	△55.9	△5.9	△41.7	△51.6	△38.4	△63.2	△63.9	△53.2	△46.2
	旅行平均回数(回/人)	0.57	0.24	0.76	0.45	0.28	0.33	0.23	0.13	0.09	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	27	396	1,684	2,659	3,802	3,720	1,928	700	58	14,975
	前年比(%)	—	△9.8	△8.1	△30.1	△24.1	△34.3	△6.3	45.8	21.0	△22.6
	前々年比(%)	△87.4	△33.0	△55.7	△74.3	△68.7	△65.9	△63.7	△46.3	△43.6	△66.5
	旅行平均回数(回/人)	0.01	0.07	0.26	0.38	0.42	0.44	0.26	0.09	0.01	0.25
女性		年代									全体
		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	6,033	5,200	12,436	9,372	9,670	9,559	6,836	4,854	2,468	66,428
	前年比(%)	△3.4	△7.3	△8.0	△10.9	△7.4	△4.2	△21.8	△21.6	15.9	△9.5
	前々年比(%)	△55.1	△57.0	△46.2	△51.8	△53.9	△55.1	△61.8	△62.2	△60.7	△54.9
	旅行平均回数(回/人)	1.30	0.97	2.03	1.38	1.09	1.14	0.87	0.55	0.33	1.03
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,444	3,335	6,559	5,744	6,129	5,202	4,322	3,488	1,646	39,869
	前年比(%)	△1.3	△7.2	△15.8	△8.1	△6.0	△9.7	△23.1	△26.3	△10.2	△12.5
	前々年比(%)	△52.0	△61.1	△52.3	△46.3	△53.3	△54.7	△63.2	△62.4	△65.3	△56.0
	旅行平均回数(回/人)	0.74	0.62	1.07	0.84	0.69	0.62	0.55	0.39	0.22	0.62
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,383	1,430	5,169	3,260	2,448	3,078	2,358	1,203	813	22,142
	前年比(%)	△12.9	△22.5	12.9	△18.3	△27.7	△2.4	△19.2	△14.7	251.2	△8.7
	前々年比(%)	△61.9	△54.9	△25.1	△52.7	△60.9	△60.0	△57.1	△63.2	△41.8	△53.2
	旅行平均回数(回/人)	0.51	0.27	0.84	0.48	0.28	0.37	0.30	0.14	0.11	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	206	436	708	367	1,093	1,279	155	164	9	4,417
	前年比(%)	9.1	154.6	△38.3	30.4	104.8	20.2	△22.9	215.4	△86.5	24.9
	前々年比(%)	1,483.0	29.2	△71.2	△80.1	△31.5	△39.8	△77.0	△46.9	△94.0	△53.5
	旅行平均回数(回/人)	0.04	0.08	0.12	0.05	0.12	0.15	0.02	0.02	0.00	0.07

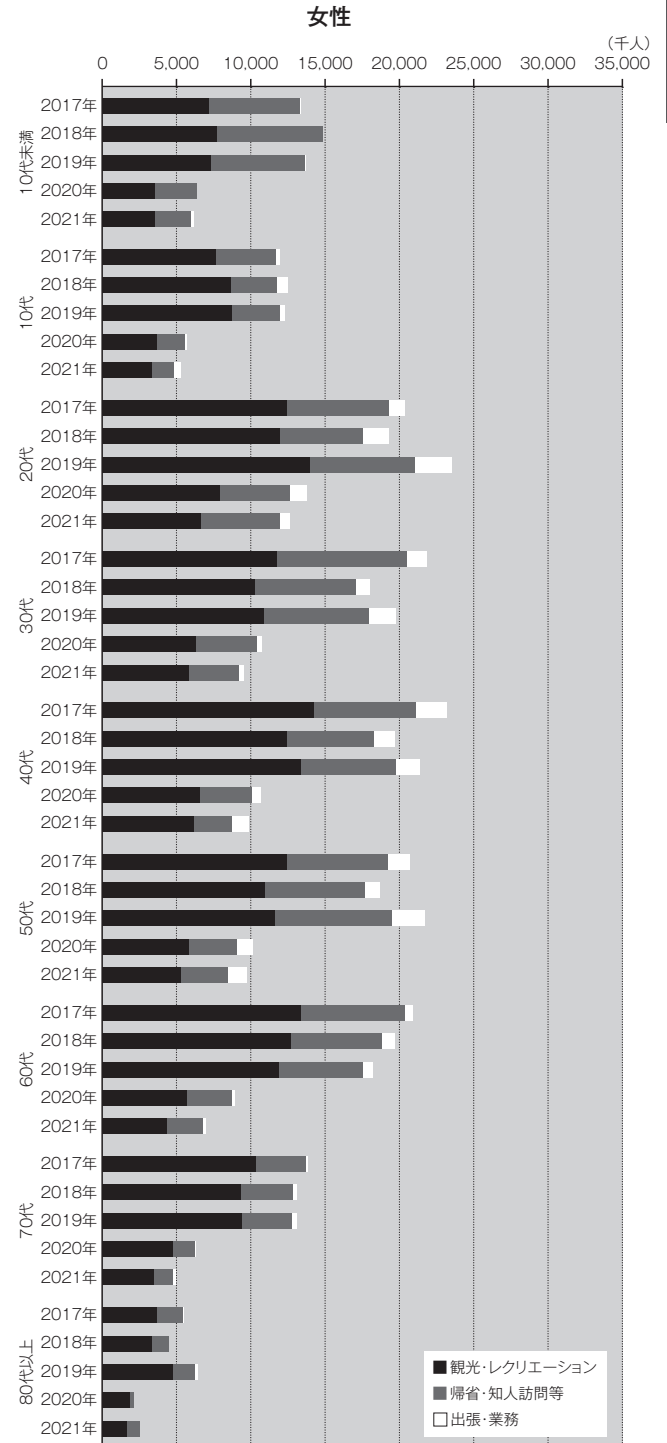
(注)各値は年間確報による。調査結果は観光庁ホームページより(2022年7月8日時点)
(注)旅行平均回数とは、旅行に行った回数の平均を指す。旅行しなかった人は0回として含めている

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-2 性・年代別日本人国内宿泊延べ旅行者数の推移



(注) 図中のデータについては表 I-2-2注と同じ



資料: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

●出発月別(表I-2-3、図I-2-3)

国内宿泊観光旅行者数を出発月別にみると、第3波下にあった1~2月はコロナの本格的な感染拡大前との比較のため前年から7割減と大幅減となった。第4波下(3~6月)、第5波下(7~9月)では、第3波下より感染者数は多かったが旅行者数は回復傾向にあり、第5波が落ち着きをみせた11月には宿泊観光旅行者数は1千万人を超え、12月は前々年比1.9%減まで回復した。観光以外の目的も12月は前年比プラスとなり、特に、帰

省・知人訪問等は前年に比べて大幅に増加した。

●居住地別(表I-2-3)

国内宿泊旅行全体でみると、北陸信越(前年比35.4%減)で特に大きく落ち込んだ。一方、沖縄では17.5%増と前年比プラスとなった。目的別にみても、居住地別の旅行者の動向は全体と概ね同傾向であった。

表 I-2-3 出発月・居住地別日本人国内宿泊旅行者数(2021年)

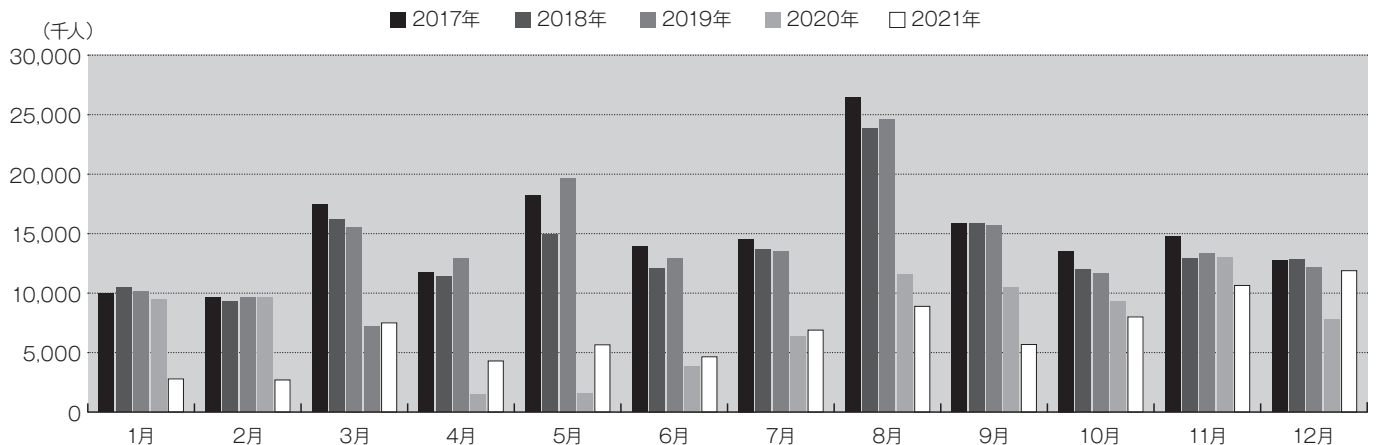
出発月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	6,976	5,727	13,572	8,645	10,955	9,697	11,287	15,214	9,516	12,661	16,919	20,600	141,768
	前年比(%)	△66.3	△66.4	△6.6	118.4	171.1	21.7	4.5	△15.7	△45.6	△13.9	△9.3	61.3	△11.8
	前々年比(%)	△69.2	△64.7	△46.2	△63.0	△69.2	△60.8	△51.8	△65.6	△65.3	△40.3	△29.0	△13.5	△54.5
	旅行平均回数(回/人)	0.06	0.05	0.11	0.07	0.09	0.08	0.09	0.12	0.08	0.10	0.13	0.16	1.13
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	2,802	2,710	7,506	4,296	5,656	4,648	6,891	8,888	5,680	8,001	10,643	11,887	79,608
	前年比(%)	△70.2	△72.1	4.3	178.3	251.4	20.0	8.6	△23.2	△45.9	△14.1	△18.2	53.0	△13.3
	前々年比(%)	△71.9	△71.9	△51.7	△67.0	△71.3	△63.9	△49.0	△63.9	△63.8	△31.5	△20.1	△1.9	△53.6
	旅行平均回数(回/人)	0.02	0.02	0.06	0.03	0.05	0.04	0.06	0.07	0.05	0.06	0.08	0.09	0.63
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	3,161	1,601	4,271	2,661	4,027	3,135	2,841	5,093	2,783	2,761	4,120	6,316	42,769
	前年比(%)	△63.9	△63.9	△20.4	55.4	118.2	24.0	6.9	4.8	△38.8	△6.5	20.7	115.2	△7.0
	前々年比(%)	△67.8	△56.5	△30.9	△57.0	△62.6	△44.6	△43.0	△65.9	△55.0	△39.8	△22.8	△14.1	△50.1
	旅行平均回数(回/人)	0.03	0.01	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03	0.05	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	1,012	1,416	1,796	1,688	1,272	1,914	1,555	1,233	1,053	1,900	2,156	2,397	19,392
	前年比(%)	△60.3	△51.3	△9.2	140.0	116.8	21.9	△13.5	△23.9	△56.7	△22.0	△3.4	16.1	△15.2
	前々年比(%)	△64.0	△50.8	△48.5	△59.2	△75.1	△69.0	△68.4	△73.6	△81.0	△61.5	△58.4	△44.8	△64.2
	旅行平均回数(回/人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.15

居住地		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全体
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	7,251	9,468	53,879	5,341	17,295	24,947	6,362	2,338	13,615	1,272	141,768
	前年比(%)	△10.9	0.1	△14.3	△35.4	△10.0	△2.7	△12.9	△18.2	△14.1	17.5	△11.8
	前々年比(%)	△51.5	△55.4	△56.4	△65.8	△52.8	△45.1	△61.3	△69.7	△51.8	△25.0	△54.5
	旅行平均回数(回/人)	1.39	1.10	1.22	0.83	1.11	1.22	0.88	0.63	1.07	0.88	1.13
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,553	5,339	31,591	3,541	9,423	14,105	2,972	1,229	7,127	727	79,608
	前年比(%)	△5.7	△3.2	△16.5	△24.6	△15.8	△11.0	△12.2	△12.3	△4.6	5.7	△13.3
	前々年比(%)	△50.8	△53.9	△54.2	△61.2	△55.4	△47.1	△61.3	△70.7	△50.1	△15.8	△53.6
	旅行平均回数(回/人)	0.68	0.62	0.72	0.55	0.60	0.69	0.41	0.33	0.56	0.50	0.63
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,476	2,922	15,183	1,344	5,221	7,560	2,402	784	4,565	313	42,769
	前年比(%)	0.3	11.1	△6.4	△48.6	△3.4	16.6	△23.3	△24.8	△20.3	12.3	△7.0
	前々年比(%)	△38.1	△50.7	△54.8	△69.6	△38.8	△37.7	△52.2	△64.2	△51.0	△40.6	△50.1
	旅行平均回数(回/人)	0.48	0.34	0.34	0.21	0.33	0.37	0.33	0.21	0.36	0.22	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	1,222	1,207	7,105	457	2,651	3,282	988	325	1,923	232	19,392
	前年比(%)	△35.8	△8.0	△19.4	△52.4	1.7	△0.7	25.4	△21.7	△27.4	100.1	△15.2
	前々年比(%)	△67.3	△67.8	△66.2	△77.9	△62.0	△50.9	△73.4	△75.6	△58.5	△24.3	△64.2
	旅行平均回数(回/人)	0.23	0.14	0.16	0.07	0.17	0.16	0.14	0.09	0.15	0.16	0.15

(注)表中のデータについては表I-2-2注と同じ

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-3 出発月別日本人国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数の推移



(注)図中のデータについては表I-2-2注と同じ

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

2 着地別（都道府県別）の旅行動向

依然として半数は減少も、増加に転じた都府県も
密を避けた旅行や近隣旅行の増加が続く

(16.5%減)、佐賀(13.9%減)、愛媛(13.7%減)、広島(12.4%減)、石川(12.1%減)、香川(11.8%減)、福島(10.2%減)、群馬(10.2%減)、岐阜(10.0%減)では前年比1割以上の減少となった。

(各地の詳細な動向については、第IV編観光地参照。)

(1) 都道府県別国内宿泊者数

2021年の日本人延べ宿泊者数は、23都府県で前年から増加した(表I-2-4)。特に、山梨(16.2%増)、富山(13.5%増)、愛知(11.5%増)、島根(10.7%増)、和歌山(10.1%増)では前年比1割以上の増加となった。一方、24道府県では前年より減少した。沖縄

(2) 都道府県別旅行内容

ここでは、国内宿泊観光旅行(観光・レクリエーションを目的とする国内宿泊旅行)に絞り、日本人の国内旅行の実態を詳しく見ていく。なお、ここで分析に用いた表データは、全て「JTBF旅行実態調査」による。

表 I-2-4 都道府県別の日本人延べ宿泊者数

(単位：千人泊、%)

訪問先	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		
		前年比		前年比		前年比		前年比	前年比	前々年比	
北海道	27,247	0.9	26,974	△1.0	28,178	4.5	19,393	△31.2	19,297	△0.5	△31.5
青森県	4,305	△11.2	4,710	9.4	4,249	△9.8	3,237	△23.8	3,543	9.4	△16.6
岩手県	5,770	△5.6	5,840	1.2	5,933	1.6	4,224	△28.8	4,532	7.3	△23.6
宮城県	8,742	△8.6	10,003	14.4	10,371	3.7	6,440	△37.9	6,374	△1.0	△38.5
秋田県	3,060	△8.2	3,382	10.5	3,515	3.9	2,520	△28.3	2,533	0.5	△27.9
山形県	5,143	△4.0	5,268	2.4	5,338	1.3	3,426	△35.8	3,424	0.0	△35.9
福島県	10,266	1.4	11,220	9.3	12,443	10.9	9,448	△24.1	8,485	△10.2	△31.8
茨城県	5,422	0.7	5,638	4.0	6,082	7.9	4,290	△29.5	4,159	△3.0	△31.6
栃木県	9,874	△1.9	9,146	△7.4	9,205	0.6	6,414	△30.3	6,746	5.2	△26.7
群馬県	8,539	1.2	8,016	△6.1	8,356	4.2	5,564	△33.4	4,999	△10.2	△40.2
埼玉県	4,118	△4.3	4,682	13.7	5,217	11.4	3,449	△33.9	3,464	0.4	△33.6
千葉県	19,462	5.0	21,470	10.3	24,431	13.8	12,990	△46.8	13,447	3.5	△45.0
東京都	39,080	△1.0	42,915	9.8	49,631	15.7	32,760	△34.0	35,136	7.3	△29.2
神奈川県	16,859	1.6	20,268	20.2	20,635	1.8	14,535	△29.6	14,568	0.2	△29.4
新潟県	9,949	0.1	9,366	△5.9	10,450	11.6	6,714	△35.8	6,673	△0.6	△36.1
富山県	3,348	5.1	3,474	3.8	3,450	△0.7	2,177	△36.9	2,470	13.5	△28.4
石川県	7,801	△3.4	8,157	4.6	8,216	0.7	5,014	△39.0	4,408	△12.1	△46.3
福井県	3,516	△3.8	3,981	13.2	4,046	1.6	2,541	△37.2	2,346	△7.7	△42.0
山梨県	6,323	△9.4	6,652	5.2	7,017	5.5	4,005	△42.9	4,655	16.2	△33.7
長野県	16,878	1.2	16,798	△0.5	16,475	△1.9	10,716	△35.0	10,502	△2.0	△36.3
岐阜県	5,019	△6.6	5,367	6.9	5,644	5.2	4,210	△25.4	3,789	△10.0	△32.9
静岡県	19,156	△2.6	20,068	4.8	20,936	4.3	14,102	△32.6	13,905	△1.4	△33.6
愛知県	14,925	5.4	14,160	△5.1	15,704	10.9	10,408	△33.7	11,605	11.5	△26.1
三重県	7,913	△11.6	8,560	8.2	8,211	△4.1	5,011	△39.0	5,028	0.4	△38.8
滋賀県	4,007	△7.9	4,419	10.3	4,592	3.9	2,624	△42.9	2,611	△0.5	△43.1
京都府	12,905	△1.1	14,183	9.9	18,725	32.0	12,190	△34.9	11,665	△4.3	△37.7
大阪府	20,991	0.0	24,774	18.0	29,501	19.1	16,492	△44.1	17,796	7.9	△39.7
兵庫県	12,695	0.4	12,132	△4.4	13,050	7.6	8,796	△32.6	8,757	△0.4	△32.9
奈良県	2,087	△5.8	2,134	2.2	2,191	2.7	1,423	△35.1	1,541	8.3	△29.7
和歌山県	4,342	5.7	4,548	4.7	4,666	2.6	3,324	△28.8	3,660	10.1	△21.6
鳥取県	2,908	0.6	3,368	15.8	2,703	△19.7	2,086	△22.8	2,150	3.1	△20.5
島根県	3,202	△6.1	2,904	△9.3	3,538	21.8	2,438	△31.1	2,699	10.7	△23.7
岡山県	5,043	△0.4	5,145	2.0	5,174	0.6	3,701	△28.5	3,501	△5.4	△32.3
広島県	8,552	△2.3	8,662	1.3	10,308	19.0	6,577	△36.2	5,761	△12.4	△44.1
山口県	4,291	△6.1	4,229	△1.4	3,658	△13.5	3,081	△15.8	3,212	4.2	△12.2
徳島県	2,005	△13.3	2,108	5.1	2,435	15.5	1,429	△41.3	1,502	5.1	△38.3
香川県	3,005	△12.2	3,502	16.5	3,888	11.0	2,448	△37.0	2,159	△11.8	△44.5
愛媛県	4,288	10.1	4,020	△6.3	4,169	3.7	2,940	△29.5	2,538	△13.7	△39.1
高知県	2,642	△3.8	2,935	11.1	2,808	△4.3	1,946	△30.7	1,907	△2.0	△32.1
福岡県	14,868	7.7	13,365	△10.1	16,158	20.9	9,969	△38.3	9,761	△2.1	△39.6
佐賀県	2,626	△5.9	2,361	△10.1	2,442	3.4	1,781	△27.1	1,534	△13.9	△37.2
長崎県	7,074	6.2	6,995	△1.1	6,496	△7.1	4,436	△31.7	4,498	1.4	△30.7
熊本県	6,810	0.8	7,040	3.4	6,698	△4.9	4,591	△31.5	4,650	1.3	△30.6
大分県	5,686	△5.6	6,332	11.4	6,696	5.7	4,698	△29.8	4,262	△9.3	△36.3
宮崎県	3,601	6.0	3,832	6.4	3,994	4.2	3,020	△24.4	2,793	△7.5	△30.1
鹿児島県	7,353	9.4	8,034	9.3	7,526	△6.3	5,005	△33.5	5,086	1.6	△32.4
沖縄県	16,492	△1.6	20,590	24.8	25,115	22.0	12,725	△49.3	10,626	△16.5	△57.7

(注)日本人延べ宿泊者数は、全延べ宿泊者数から外国人延べ宿泊者数を差し引いて集計した

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

①旅行先とマーケットセグメント(表I-2-5)

全体的な傾向としては、『家族旅行』と『ひとり旅』が前年と比べて微増した。『友人や知人との旅行』はコロナ禍前と比べて減少が続き、前年から1.8ポイント減、前々年と比べて3.5ポイント減となった。一方、『夫婦・カップルでの旅行』は前年に比べると微減だが、コロナ禍前の前々年と比べると3.1ポイント増であった。

都道府県別にみると、42道府県で『夫婦・カップルでの旅行』がトップシェアとなった。特に、「秋田」「富山」「佐賀」では全体よりも10ポイント以上高く、その他、「神奈川」「石川」「岐阜」「滋賀」「鳥取」「島根」「愛媛」「熊本」でも高いシェアとなった。『夫婦旅行(子育て後)』は、「秋田」では全体に比べて15ポイント以上高い。

『家族旅行』がトップシェアとなったのは「千葉」「三重」であった。『子ども連れ家族旅行』は東京ディズニーリゾートを有する「千葉」で、例年同様、特に高い値となった。また、『大人のみ家族旅行』は「岩手」「京都」「奈良」で、『3世代の家族旅行』は「奈良」「和歌山」「長崎」で、全体と比べ高い値を示した。

『友人や知人との旅行』は、「新潟」「福井」「愛媛」「高知」が全体に比べて高い傾向にあった。

『ひとり旅』については、「東京」「大阪」「高知」で男女ともに高く、「大阪」ではトップシェアとなった。『ひとり旅』は、全体的に男性のほうが高い値を示す傾向がみられるが、「宮城」「徳島」では女性ひとり旅も目立つ。

②旅行先と居住地(表I-2-6)

旅行者全体の居住地構成としては、前年およびコロナ禍前の前々年から大きな変動はなく、人口の多い南関東が3割を占め、近畿1.5割強、東海および九州・沖縄がそれぞれ1割で続く。いずれの地域においても、大都市居住者(南関東・近畿)と近隣居住者が重要なマーケットとなっているが、コロナの影響を受け、近隣居住者の比率が大幅に高まった状態が前年から続いている。

北海道は、コロナ禍前の前々年は南関東居住者のシェアが最も高かったが、コロナ禍においては道内居住者率が高まり、2020年は48.4%、2021年50.3%と約半数を占めた。

東北地方も、東北地方在住の旅行者のシェアが4割以上を占め、前年からの域内旅行者割合の高まりが続く。

北関東は例年同様、南関東居住者のシェアが最も高く、5~6割を占めた。次点の北関東居住者は、コロナ禍においてその比率が急増したが、2021年も高い状態が続き、コロナ禍前と比べて15ポイント程度高まっている。南関東の「埼玉」「千葉」「神奈川」も、南関東居住者がコロナ禍前に比べて20ポイント程度高まった状態が続いた。「東京」は、他道府県に比べて全国各地から観光客が訪れることから南関東居住者のシェアは3割にとどまった。なお、南関東居住者は前年から微減したものの、コロナ禍前からは2割程度増加している。

甲信越、北陸および東海地方でも、域内居住者の比率の高まりが続く。ただし、「岐阜」は隣接する近畿居住者の増加もあり、東海居住者のシェアは前年比マイナスとなった。

近畿地方のうち、「滋賀」「兵庫」「奈良」「和歌山」は近隣居住

者である近畿居住者のシェアが最も大きい。「京都」「大阪」は、トップシェアは前年同様、南関東居住者であった。いずれの地域も、域内居住者の比率はコロナ禍前と比べて高い。

中国および四国地方も同様の傾向がみられ、近隣居住者の比率は前年と比べると減少した地域もあるものの、いずれもコロナ禍前の前々年と比べると増加している。「鳥取」「岡山」「徳島」「香川」は近隣の大都市圏である近畿地方居住者がトップシェアであり、主要なマーケットとなっている。

九州地方は、例年九州在住の旅行者が多いが、前年と比べてもさらに域内居住者率が高まった。「沖縄」は、コロナ禍前の前々年と比べると九州・沖縄居住者が増加しているものの、トップシェアは南関東からの旅行者であり、3割を占めた。

③旅行先と最も楽しみにしていたこと(表I-2-7)

旅行の楽しみの2トップは『温泉に入ること』『おいしいものを食べること』で、それぞれ2割強を占めた。前年、トップが『おいしいものを食べること』から『温泉に入ること』に入れ替わったが、コロナ禍にあつて『温泉に入ること』はさらに伸ばし、前年比2.1ポイント増、コロナ禍前の前々年と比べると7.6ポイント増となった。その後には『自然景観を見ること』が続き、1割を占めた。5位には前年7位の『目当ての宿泊施設に泊まること』が入った。6.6%と大きなシェアとはなっていないが、前年からは0.8ポイント増、コロナ禍前の前々年からは4.1ポイント増となり、順位を伸ばした。その一方で、『文化的な名所を見ること』『観光・文化施設を訪れること』は、前年に続いて減少傾向が続いた。

都道府県別にみると、1つの目的のシェアが4割を超えたのは「岩手」「秋田」「群馬」「岐阜」「大分」の『温泉に入ること』、「福井」の『おいしいものを食べること』であった。一方、「埼玉」「東京」「広島」などは特定の目的への集中が他道府県に比べてみられず、分散傾向にあった。

『温泉に入ること』は、草津・伊香保温泉などを有する「群馬」、別府・由布院温泉などを有する「大分」で、前年に続いて4割以上を占め、かつ、全体に比べて15ポイント以上高い。花巻・八幡平温泉郷などを有する「岩手」、玉川・乳頭温泉などを有する「秋田」、下呂・平湯温泉などを有する「岐阜」も同様に、4割以上を占めた。『おいしいものを食べること』は、越前がにや丸焼き鯖に代表される「福井」、イカ料理や佐賀牛・伊万里牛に代表される「佐賀」で特徴的な楽しみであり、4割を占め、かつ、全体に比べ15ポイント以上高い。『自然景観を見ること』は、3割以上を占める都道府県はないものの、「埼玉」「山口」「沖縄」で2割を占め、かつ、全体に比べ10ポイント以上高い。『文化的な名所を見ること』は、「京都」「奈良」「島根」で3割を占め、かつ、全体に比べ15ポイント以上高い。近畿および中国地方でのシェアが高い。『目当ての宿泊施設に泊まること』は、「福井」「広島」「宮崎」で、『スポーツやアウトドア活動を楽しむこと』は「長野」「沖縄」でのシェアが高い。『観光・文化施設を訪れること』は、東京ディズニーリゾートのある「千葉」、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのある「大阪」で全体より15ポイント以上高い値となった。

表 I-2-5 旅行先別のマーケットセグメント(同行者×ライフステージ)

(単位：%)

同行者 旅行先	家族旅行					夫婦・カップルでの旅行					友人や知人との旅行						ひとり旅		その他	サンプル数				
	子ども連れ		大人のみ	※3世代		カップル	夫婦旅行 (子どもなし)	子育て中	子育て後	男性			女性			男性	女性							
	(小中高生を含まない)	乳幼児連れ								未婚	既婚 (子どもなし)	子育て中	子育て後	未婚	既婚 (子どもなし)			子育て中			子育て後			
																						未婚	既婚 (子どもなし)	子育て中
全体	28.8	5.6	12.4	10.8	6.1	38.7	11.1	9.7	1.5	16.4	14.3	3.6	0.8	0.8	1.8	3.1	1.0	0.2	2.9	16.6	10.9	5.7	1.6	(5803)
前年	27.9	5.4	11.1	11.4	6.4	39.2	10.0	10.7	1.5	16.9	16.1	4.4	0.6	0.6	2.4	3.8	0.9	0.4	2.9	15.4	10.5	4.9	1.4	(6511)
前々年	27.7	5.7	11.7	10.3	7.5	35.6	9.3	9.0	2.2	15.2	17.8	3.8	0.9	1.2	2.1	4.4	1.4	0.4	3.6	16.9	11.1	5.8	2.0	(9364)
北海道	25.7	3.1	11.0	11.6	6.3	40.3	10.8	10.3	1.7	17.5	11.4	3.0	1.2	0.6	1.3	2.2	0.5	0.0	2.6	21.6	14.4	7.2	1.0	(390)
青森県	17.6	6.4	7.7	3.4	1.5	41.4	9.2	12.0	0.0	20.2	16.9	4.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	8.3	24.0	14.6	9.4	0.0	(86)
岩手県	30.2	7.7	4.1	18.4	2.6	43.2	6.7	14.6	2.2	19.8	13.5	4.7	0.5	0.5	0.6	3.3	0.0	0.0	3.7	12.6	7.9	4.7	0.5	(144)
宮城県	22.5	3.5	12.6	6.4	5.0	36.5	10.8	6.1	1.6	18.0	16.1	3.4	0.9	0.5	2.0	4.6	0.0	0.0	4.6	24.5	13.7	10.8	0.4	(175)
秋田県	19.2	5.4	4.6	9.3	5.8	51.5	1.1	12.5	2.8	35.0	9.9	1.6	0.7	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	2.9	16.3	12.4	3.9	3.2	(80)
山形県	23.9	1.0	8.5	14.4	3.6	41.8	7.2	6.3	4.8	23.5	15.7	4.2	0.0	2.5	2.0	3.5	0.0	0.0	3.4	17.4	15.9	1.5	1.2	(95)
福島県	22.8	3.1	9.7	10.0	1.3	38.8	8.5	11.2	1.7	17.4	16.4	5.5	0.9	0.4	3.0	2.5	2.6	0.0	1.4	22.1	16.6	5.5	0.0	(141)
茨城県	24.0	1.9	12.1	10.0	3.8	39.2	9.1	5.1	2.2	22.8	16.7	1.1	1.1	3.2	5.2	1.1	0.0	1.1	4.0	14.8	8.4	6.5	5.2	(70)
栃木県	31.7	9.7	10.3	11.6	5.7	38.4	11.7	9.0	1.2	16.5	16.6	6.5	3.0	0.5	0.9	4.3	0.8	0.0	0.7	10.1	7.0	3.1	3.2	(194)
群馬県	31.4	6.0	13.4	11.9	6.6	39.3	6.2	8.2	1.7	23.2	18.0	6.3	0.0	0.0	3.4	5.4	0.0	0.0	2.8	10.7	8.5	2.1	0.7	(185)
埼玉県	31.5	8.5	14.0	9.0	6.0	35.7	11.4	10.3	1.9	12.0	14.5	3.4	0.0	0.7	0.0	7.2	1.2	0.0	2.0	18.4	11.7	6.6	0.0	(78)
千葉県	48.4	10.4	25.6	12.5	10.1	28.4	14.2	4.0	1.1	9.0	9.5	2.0	1.1	0.6	1.8	2.9	1.0	0.2	0.0	12.4	7.2	5.3	1.3	(240)
東京都	16.6	2.7	5.2	8.7	2.9	33.2	15.6	8.4	1.4	7.9	12.9	3.0	0.0	0.6	0.8	4.4	0.8	0.0	3.2	36.8	21.9	14.9	0.5	(334)
神奈川県	24.9	5.5	10.0	9.3	5.4	44.1	15.4	12.9	1.9	13.8	13.6	3.4	0.9	0.8	0.6	4.7	0.5	0.0	2.8	15.9	9.7	6.2	1.5	(311)
新潟県	21.2	3.8	8.7	8.7	3.2	42.3	10.2	12.1	0.9	19.1	19.9	5.5	0.8	0.8	3.9	2.3	0.9	0.0	5.7	13.5	9.5	4.0	3.1	(166)
富山県	12.6	2.8	5.2	4.6	6.0	49.1	9.9	8.8	2.3	28.0	13.2	3.3	1.6	1.2	2.5	1.1	1.6	0.0	1.9	21.8	18.8	2.9	3.4	(82)
石川県	22.1	2.8	12.1	7.2	5.1	45.8	13.4	11.9	0.0	20.5	17.7	6.6	0.0	0.5	3.5	1.1	2.0	1.0	3.0	12.4	8.5	4.0	1.9	(144)
福井県	26.9	3.4	14.6	8.8	6.8	39.6	10.7	7.0	3.7	18.2	19.6	3.4	0.8	1.6	4.8	2.6	0.8	0.0	5.6	12.1	11.3	0.8	1.7	(88)
山梨県	32.6	6.6	15.1	10.9	5.1	37.2	12.5	9.4	0.0	15.4	13.8	2.6	1.5	0.9	1.6	1.5	1.9	0.9	2.8	15.4	11.1	4.3	1.0	(173)
長野県	27.5	3.9	9.6	14.0	5.1	41.1	9.2	10.9	1.5	19.5	17.4	4.0	1.9	0.4	3.1	4.4	0.5	0.0	3.0	11.9	7.1	4.8	2.0	(320)
岐阜県	26.8	7.8	6.3	12.7	5.7	44.1	9.9	15.5	2.7	16.1	14.0	5.8	0.0	1.7	2.5	2.4	0.0	0.0	1.7	14.0	12.8	1.1	1.0	(127)
静岡県	30.5	6.3	13.1	11.2	6.7	38.6	12.0	8.7	1.8	16.1	12.2	3.0	0.2	0.2	2.1	2.9	0.8	0.4	2.5	16.7	10.6	6.2	2.0	(373)
愛知県	26.8	4.2	14.2	8.4	6.0	33.3	10.8	8.8	2.5	11.1	15.7	6.1	1.1	1.5	1.2	2.1	2.0	0.0	1.8	22.9	14.3	8.6	1.3	(189)
三重県	37.8	10.5	12.5	14.9	6.5	31.4	5.6	8.2	0.8	16.7	18.1	6.0	1.1	0.0	2.9	1.3	0.0	0.0	6.9	12.7	12.7	0.0	0.0	(164)
滋賀県	23.2	1.8	13.5	8.0	4.7	47.1	5.0	18.4	1.5	22.2	15.3	4.3	0.0	0.0	0.8	5.3	1.1	0.0	3.8	14.4	13.0	1.4	0.0	(94)
京都府	26.8	2.2	8.5	16.1	4.3	38.2	12.6	10.3	1.5	13.9	16.7	6.0	0.3	0.3	1.1	4.1	2.4	0.0	2.6	17.1	10.7	6.4	1.2	(283)
大阪府	26.4	5.8	13.2	7.4	6.1	26.3	13.6	4.6	0.9	7.3	15.4	4.9	0.6	1.1	0.7	6.5	0.9	0.0	0.9	31.2	20.0	11.3	0.6	(247)
兵庫県	32.1	6.2	10.8	15.0	9.4	36.0	8.6	9.6	0.9	16.9	17.3	3.3	0.6	0.0	3.1	3.7	0.3	1.0	5.3	11.5	7.3	4.3	3.1	(231)
奈良県	32.4	6.1	7.6	18.7	11.8	36.9	10.0	9.2	2.9	14.7	14.3	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	8.3	15.0	12.6	2.4	1.4	(71)
和歌山県	28.6	6.8	15.1	6.6	11.1	40.8	7.4	6.7	3.6	23.1	15.0	5.7	1.0	0.0	2.0	2.4	0.7	0.0	3.2	14.3	8.8	5.5	1.3	(104)
鳥取県	19.5	4.1	12.0	3.4	2.9	47.9	6.9	10.0	0.0	31.0	19.2	4.9	1.5	2.1	3.7	5.6	0.0	0.0	1.5	11.0	7.7	3.3	2.4	(63)
島根県	15.5	6.7	5.2	3.6	4.7	47.0	9.3	13.6	0.0	24.1	13.1	2.9	2.3	0.0	2.1	2.1	1.4	0.0	2.3	24.4	18.3	6.0	0.0	(72)
岡山県	31.1	7.1	12.7	11.2	2.2	35.2	10.2	9.4	0.6	14.9	15.2	8.2	0.0	1.7	1.7	2.2	1.4	0.0	0.0	18.6	13.7	4.8	0.0	(93)
広島県	21.7	2.6	9.4	9.7	4.7	39.4	10.5	12.5	0.9	15.6	10.5	4.0	0.0	0.9	0.8	1.8	2.3	0.0	0.6	26.6	20.3	6.3	1.8	(151)
山口県	35.0	8.6	11.2	15.2	9.0	38.2	9.7	7.4	0.0	21.1	10.1	2.3	0.0	3.2	0.0	1.4	0.0	0.0	3.2	16.2	13.0	3.2	0.6	(105)
徳島県	21.8	0.0	13.4	8.4	4.9	41.1	8.9	7.2	1.6	23.4	12.7	5.3	0.0	0.0	2.6	3.8	0.0	0.0	1.0	19.5	8.6	10.9	4.9	(57)
香川県	28.0	4.4	18.6	5.0	5.0	41.4	8.1	9.0	0.0	24.3	16.3	6.3	0.0	3.0	1.7	4.1	0.0	0.0	1.2	13.4	7.4	6.0	0.9	(83)
愛媛県	21.5	3.0	12.1	6.4	6.7	44.8	15.2	6.4	1.3	22.0	20.5	7.0	0.0	1.3	3.1	1.7	1.2	0.0	6.3	12.2	5.9	6.3	1.0	(79)
高知県	18.8	3.0	6.1	9.7	1.1	27.8	9.8	9.9	0.0	8.1	24.8	8.1	0.0	4.7	1.4	1.4	0.0	0.0	9.1	28.6	17.0	11.6	0.0	(52)
福岡県	25.2	4.7	8.8	11.6	5.2	39.6	14.5	12.7	1.1	11.5	10.5	4.8	0.0	0.5	1.5	1.3	0.5	0.5	1.4	23.6	17.7	5.9	1.0	(199)
佐賀県	15.7	2.7	7.7	5.3	4.7	50.8	14.2	18.3	0.0	18.4	16.2	0.0	0.0	0.0	1.7	6.3	4.0	0.0	4.2	14.6	14.6	0.0	2.6	(55)
長崎県	35.0	7.5	18.2	9.4	11.6	40.3	8.8	13.4	1.2	16.9	7.4	1.4	1.2	0.0	2.6	0.8	0.0	0.0	1.4	16.4	11.5	4.9	0.9	(109)
熊本県	31.8	2.5	15.4	13.8	7.3	44.4	12.4	10.5	4.0	17.5	6.9	1.8	0.0	0.6	0.0	1.8	0.8	0.0	1.9	14.6	10.8	3.8	2.4	(118)
大分県	34.1	7.6	15.6	10.9	9.2	36.8	13.6	8.0	2.1	13.1	16.0	4.9	0.0	1.8	2.2	4.4	1.5	0.0	1.3	11.1	8.2	2.8	2.0	(163)
宮崎県	26.0	2.4	17.2	6.5	0.9	41.3	11.0	16.7	1.5	12.2	16.3	10.1	0.0	0.0	0.0	2.3	2.4	1.5	0.0	16.4	14.1	2.3	0.0	(63)
鹿児島県	24.1	8.9	10.6	4.7	8.2	36.7	12.1	9.3	1.5	13.8	13.6	1.8	3.4	0.0	3.4	0.0	0.9	0.9	3.3	24.9	16.1	8.9	0.7	(105)
沖縄県	22.5	3.6	11.8	7.1	8.0	37.9	12.9	16.6	1.3															

表I-2-6 旅行先(都道府県)別の旅行者居住地

(単位：%)

居住地 旅行先	居住地													サンプル数
	北海道	北東北 青森、 岩手、 秋田	南東北 宮城、 山形、 福島	北関東 茨城、 栃木、 群馬	南関東 埼玉、 千葉、 東京、 神奈川	甲信越 新潟、 山梨、 長野	北陸 富山、 石川、 福井	東海 岐阜、 静岡、 愛知、 三重	近畿 滋賀、 京都、 大阪、 兵庫、 奈良、 和歌山	中国 鳥取、 島根、 岡山、 広島、 山口	四国 徳島、 香川、 愛媛、 高知	九州・沖縄 福岡、 佐賀、 長崎、 熊本、 大分、 宮崎、 鹿児島、 沖縄		
全体	4.4	3.1	4.0	5.0	30.7	3.9	2.7	11.4	16.2	4.8	2.4	11.4	(5803)	
前年	4.1	3.0	4.0	5.0	30.5	3.7	2.7	11.6	16.6	4.8	2.5	11.4	(6511)	
前々年	4.2	3.0	4.6	4.9	30.1	4.1	2.4	11.6	16.3	4.9	2.8	11.1	(9364)	
北海道	50.3	1.5	1.8	1.0	25.9	1.2	0.8	4.9	7.7	1.2	1.1	2.6	(390)	
青森県	4.4	39.3	8.0	6.6	24.1	3.3	1.1	3.6	5.7	0.0	0.0	3.9	(86)	
岩手県	1.9	49.9	11.5	5.6	24.4	0.6	1.1	0.4	4.6	0.0	0.0	0.0	(144)	
宮城県	3.5	5.4	40.5	5.1	26.9	3.4	1.2	0.3	10.6	0.0	0.3	2.8	(175)	
秋田県	0.0	49.5	8.8	3.5	22.6	3.8	1.6	2.4	2.5	0.0	0.0	5.3	(80)	
山形県	0.8	5.9	43.2	6.8	28.1	4.9	1.4	1.4	6.8	0.0	0.0	0.8	(95)	
福島県	0.7	2.9	40.1	10.9	36.8	2.0	0.9	0.8	2.6	0.9	0.0	1.4	(141)	
茨城県	0.0	1.9	3.5	34.2	47.8	0.0	2.1	5.1	3.3	0.0	0.0	2.2	(70)	
栃木県	0.5	2.2	2.8	28.4	59.2	1.6	0.0	2.6	1.9	0.0	0.0	0.7	(194)	
群馬県	0.9	1.4	1.7	26.0	58.6	6.0	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	0.8	(185)	
埼玉県	1.3	5.0	0.0	8.1	65.0	0.0	0.0	12.5	5.6	1.3	1.2	0.0	(78)	
千葉県	0.8	0.2	1.0	9.9	62.1	3.7	0.6	4.5	10.7	0.6	0.8	5.2	(240)	
東京都	4.3	1.2	5.1	5.0	28.0	5.1	1.5	16.3	19.5	2.9	2.3	8.8	(334)	
神奈川県	1.0	0.7	1.6	7.6	63.6	3.4	0.5	9.3	6.9	0.4	0.7	4.2	(311)	
新潟県	0.8	1.8	3.1	7.0	32.6	41.0	1.3	5.0	6.0	0.5	0.0	0.9	(166)	
富山県	0.0	0.0	0.7	2.3	30.1	3.4	35.3	5.0	13.4	0.0	0.0	9.8	(82)	
石川県	0.5	0.8	0.0	0.5	23.4	6.9	27.1	8.8	29.8	0.6	0.0	1.5	(144)	
福井県	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2	0.7	26.9	17.7	23.9	0.0	3.9	0.8	(88)	
山梨県	0.0	0.0	0.3	6.3	61.5	8.6	1.2	13.2	5.8	0.3	0.9	1.8	(173)	
長野県	0.0	0.4	1.0	4.7	43.6	15.2	4.1	15.2	13.4	1.1	0.5	0.9	(320)	
岐阜県	1.2	0.0	0.0	1.5	21.2	4.2	5.0	43.7	18.4	1.2	0.7	2.8	(127)	
静岡県	0.0	0.0	0.4	4.5	54.8	2.9	1.2	27.0	6.4	1.0	0.6	1.3	(373)	
愛知県	1.5	0.0	0.0	1.2	24.2	2.6	2.4	40.6	23.4	1.7	0.0	2.5	(189)	
三重県	2.2	0.0	0.0	1.4	12.6	1.2	0.5	49.9	30.3	0.6	0.0	1.4	(164)	
滋賀県	0.0	0.0	0.0	0.8	18.4	0.0	1.4	21.5	51.5	3.3	1.1	2.1	(94)	
京都府	0.9	0.3	1.5	1.2	34.3	1.5	1.5	13.0	29.2	3.4	2.4	10.7	(283)	
大阪府	1.4	1.1	1.6	4.3	28.6	1.6	3.1	11.1	27.9	4.6	3.4	11.3	(247)	
兵庫県	1.2	0.7	0.2	0.7	11.9	0.6	1.7	8.5	63.5	4.2	3.4	3.5	(231)	
奈良県	4.1	0.0	0.0	5.0	18.0	0.0	2.9	16.0	42.1	1.1	3.0	7.9	(71)	
和歌山県	2.8	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	2.6	20.9	53.2	3.1	0.7	3.7	(104)	
鳥取県	0.0	0.0	3.8	0.0	7.0	2.9	1.2	6.0	40.1	29.4	7.0	2.6	(63)	
島根県	2.1	0.0	3.5	2.0	11.2	3.3	0.0	4.1	22.0	34.0	4.3	13.4	(72)	
岡山県	1.7	0.0	0.0	0.0	14.6	4.3	0.8	6.2	32.0	30.3	6.9	3.3	(93)	
広島県	1.9	0.0	0.0	1.8	20.2	1.0	0.0	7.8	22.9	30.6	5.4	8.3	(151)	
山口県	0.0	0.0	1.4	0.9	2.1	3.2	0.0	0.0	19.1	56.0	1.0	16.3	(105)	
徳島県	1.3	0.0	0.0	4.0	8.7	0.0	0.0	10.7	35.2	15.4	17.7	7.1	(57)	
香川県	1.2	1.2	0.9	0.0	9.7	0.0	0.0	1.6	38.8	20.1	22.7	3.8	(83)	
愛媛県	1.8	0.0	0.0	0.0	12.4	0.0	0.0	6.0	25.1	10.0	35.0	9.6	(79)	
高知県	3.4	1.9	0.0	4.4	11.1	0.0	0.0	7.5	19.9	12.1	30.0	9.8	(52)	
福岡県	1.2	0.0	1.5	2.2	22.8	1.4	0.0	3.2	15.0	10.0	0.8	41.8	(199)	
佐賀県	0.0	0.0	1.7	0.0	11.5	0.0	0.0	5.5	5.6	6.4	4.1	65.3	(55)	
長崎県	0.8	0.0	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	3.0	5.0	3.5	2.9	74.2	(109)	
熊本県	1.6	0.0	0.8	1.1	9.2	0.6	0.0	1.5	5.8	5.8	0.8	72.8	(118)	
大分県	1.4	0.0	0.6	1.4	6.6	0.0	0.0	2.8	8.0	7.7	2.6	68.9	(163)	
宮崎県	1.4	0.0	0.0	3.0	5.7	0.9	2.1	0.0	3.8	2.6	1.2	79.3	(63)	
鹿児島県	1.4	0.0	0.0	1.4	17.1	1.8	0.0	3.0	2.1	5.9	0.5	66.7	(105)	
沖縄県	4.5	0.0	0.5	4.5	33.4	0.8	2.3	10.1	9.2	4.6	3.7	26.3	(183)	

(注)1回の旅行につき、複数の旅行先(都道府県)を選択したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

表 I-2-7 旅行先(都道府県)別の最も楽しみにしていたこと

(単位：%)

楽しみ 旅行先	温泉に入ること	おいしいものを 食べる	自然景観を見ること	文化的な名所(史跡、寺 社仏閣など)を見ること	目当ての宿泊施設に 泊まること	スポーツやアウトドア 活動を楽しむこと	観光・文化施設(水族館 や美術館、テーマパーク など)を訪れること	帰省・冠婚葬祭・ 親族や知人訪問	自然の豊かさを 体験すること	芸術・音楽・スポーツ などの観劇・鑑賞・観戦	買い物をする	街や都市を訪れる	地域の祭りやイベント	地域の文化を 体験すること	その他	サンプル数
全体	23.0	21.4	10.1	7.0	6.6	6.2	5.5	4.4	3.8	3.1	2.8	2.7	0.7	0.6	2.3	(5803)
前年	20.9	20.8	11.1	8.2	5.7	6.0	6.7	4.3	3.7	2.6	2.5	3.6	0.9	0.4	2.4	(6511)
前々年	15.4	18.7	12.2	11.7	2.5	6.2	9.3	4.0	3.2	5.0	2.9	4.0	1.9	1.0	2.1	(9364)
北海道	27.3	23.1	12.6	5.1	5.9	5.6	1.0	3.2	4.0	2.2	4.2	2.3	0.6	1.5	1.5	(347)
青森県	32.6	24.2	1.5	2.6	2.6	2.6	2.6	8.4	5.4	1.5	9.6	3.8	1.5	1.2	0.0	(50)
岩手県	43.3	20.7	11.4	2.7	5.3	5.6	2.6	2.7	0.9	1.3	0.0	1.3	0.0	2.1	0.0	(102)
宮城県	37.2	15.7	10.2	1.8	5.1	1.2	3.4	9.8	2.9	4.2	1.7	2.8	0.7	0.6	2.8	(125)
秋田県	44.1	10.8	12.0	1.9	1.5	6.9	1.9	3.8	8.4	1.5	1.5	3.1	0.0	1.5	1.1	(49)
山形県	29.5	29.1	7.6	11.0	1.9	3.7	0.0	2.8	2.5	0.0	6.6	2.9	1.1	0.0	1.4	(53)
福島県	36.5	18.2	9.3	3.8	8.3	7.8	1.5	7.8	3.4	0.0	1.5	1.1	0.0	0.7	0.0	(98)
茨城県	22.9	16.0	10.2	6.4	5.0	13.7	4.4	7.7	2.8	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	5.8	(47)
栃木県	33.3	19.9	6.5	6.6	9.0	9.8	5.8	0.0	6.0	1.2	0.5	0.9	0.0	0.0	0.6	(155)
群馬県	55.7	2.6	14.2	1.0	5.0	6.8	3.5	1.7	4.4	0.4	3.2	0.7	0.0	0.0	0.7	(140)
埼玉県	8.0	16.0	20.5	7.9	5.8	9.7	5.5	4.7	7.1	6.5	3.1	1.0	0.0	0.0	4.1	(57)
千葉県	12.2	19.9	3.7	0.6	6.8	10.3	22.9	4.5	5.2	2.0	3.2	1.1	0.0	0.3	7.3	(180)
東京都	3.7	15.5	3.0	4.8	10.6	1.9	8.9	9.4	2.0	19.7	5.0	9.9	1.4	0.6	3.6	(238)
神奈川県	37.8	19.4	7.5	2.8	5.1	3.2	6.3	3.8	1.4	5.6	2.0	2.3	1.4	1.5	0.0	(233)
新潟県	26.9	27.2	9.6	2.0	9.7	6.6	2.7	3.1	4.7	2.5	1.1	0.0	0.8	0.0	3.1	(127)
富山県	20.8	33.0	9.7	5.6	9.8	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	5.8	0.0	3.3	0.0	0.0	(44)
石川県	24.1	32.2	6.7	10.3	7.9	2.7	3.6	3.0	2.0	3.0	1.0	3.5	0.0	0.0	0.0	(98)
福井県	8.6	41.6	5.5	5.8	15.6	5.8	7.3	4.4	0.0	0.0	2.6	1.0	0.0	0.0	1.8	(56)
山梨県	19.1	18.4	17.6	3.1	8.6	12.3	5.2	3.2	6.3	2.5	0.8	0.0	0.0	0.0	3.1	(122)
長野県	24.0	15.0	14.5	5.0	2.8	16.5	1.3	2.7	10.6	0.4	3.4	0.8	0.5	0.6	1.8	(245)
岐阜県	43.6	15.0	6.1	6.2	5.8	5.2	3.6	4.2	4.1	1.0	1.8	0.0	2.0	0.0	1.3	(71)
静岡県	34.5	23.3	8.8	1.8	8.0	7.4	3.6	3.4	1.8	1.3	1.3	1.4	1.5	0.7	1.3	(304)
愛知県	13.3	28.0	6.6	3.6	7.4	4.8	6.8	12.2	1.8	2.4	3.6	1.4	0.9	1.4	5.8	(146)
三重県	17.3	35.3	5.9	7.9	6.9	4.1	10.2	4.2	2.1	1.0	1.8	1.1	0.6	0.0	1.7	(121)
滋賀県	29.4	28.3	12.7	13.0	3.2	4.1	2.1	1.7	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0	2.4	1.1	(54)
京都府	4.5	25.9	9.5	32.4	5.4	1.2	1.7	4.9	2.4	1.2	3.9	4.9	0.0	1.3	0.8	(169)
大阪府	8.1	19.5	3.1	2.7	10.6	1.9	20.7	5.1	0.8	10.1	8.2	3.4	2.3	0.0	3.6	(157)
兵庫県	24.5	26.4	4.5	4.3	10.0	8.4	2.7	5.3	4.1	2.0	4.6	2.2	0.0	0.0	0.9	(165)
奈良県	12.0	7.7	11.9	33.5	6.3	11.5	2.3	0.0	3.4	0.0	0.0	1.4	0.0	4.5	5.6	(39)
和歌山県	29.6	26.0	8.9	3.7	7.5	4.1	8.8	3.8	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	(79)
鳥取県	27.6	32.5	11.7	0.0	10.0	0.0	0.0	4.8	5.3	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	2.7	(28)
島根県	20.2	28.8	5.6	36.4	2.2	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(33)
岡山県	29.6	28.8	0.0	9.1	1.1	7.5	2.6	4.2	0.0	4.6	9.0	2.0	0.0	0.0	1.5	(51)
広島県	4.2	19.6	8.3	14.0	12.8	8.1	0.6	4.9	0.0	7.7	3.0	9.3	2.0	0.0	5.4	(94)
山口県	35.3	18.3	24.2	5.0	6.1	1.2	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	3.2	(64)
徳島県	15.0	35.1	16.2	3.3	5.6	5.3	0.0	12.9	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
香川県	31.7	32.3	2.8	1.3	7.1	5.3	10.9	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	4.3	(41)
愛媛県	18.8	35.0	4.0	6.4	9.4	9.8	0.0	8.5	1.4	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	1.4	(41)
高知県	12.9	26.0	7.2	3.5	9.9	12.3	5.2	1.9	6.2	0.0	0.0	6.1	0.0	8.9	0.0	(29)
福岡県	9.6	28.0	6.3	7.5	7.6	4.3	4.2	7.0	0.7	6.5	5.7	6.2	2.1	2.1	2.3	(138)
佐賀県	33.6	36.6	5.3	10.5	5.8	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	(25)
長崎県	18.8	23.6	12.9	7.7	4.4	6.3	6.4	3.6	1.8	0.0	5.2	5.4	1.8	0.0	2.2	(83)
熊本県	26.4	24.4	17.1	3.7	5.4	2.1	3.1	3.9	5.9	2.3	2.0	1.8	0.0	0.0	1.9	(75)
大分県	43.3	22.9	4.3	0.8	7.0	2.0	7.2	2.0	3.7	2.3	0.0	1.8	0.0	0.0	2.6	(114)
宮崎県	34.2	14.1	7.0	5.2	12.2	13.0	0.0	3.3	6.6	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	(40)
鹿児島県	32.1	21.3	11.1	3.4	7.6	5.3	0.0	6.1	9.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	(83)
沖縄県	0.8	15.0	20.8	4.1	8.3	20.2	5.1	0.9	12.7	0.6	3.6	1.3	0.4	0.4	5.8	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している 資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」
■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

④旅行先での交通手段(表I-2-8)

コロナ禍において旅行先での交通手段はその影響を大きく受け、『列車』をはじめとした公共交通機関の利用率が大幅に減少、『自家用車』の利用率が高まったが、2021年も前年比2.8ポイント増とその傾向が続いた。コロナ禍前の前々年と比べて『自家用車』は11.9ポイント増、『列車』は9.3ポイント減であった。

『自家用車』は、特に、「秋田」「栃木」「群馬」「鳥取」「香川」「熊本」「宮崎」で利用率が6.5割を超え、全体よりも15ポイント以上高い。『列車』は、公共交通機関が発達している「東京」「大阪」では約6割が利用しており、両都府での『自家用車』利用率は2割程度にとどまる。「京都」「福岡」も、『列車』利用率が全体よりも15ポイント以上高く、かつ、列車利用率が自家用車利用率を上回る。『レンタカー』利用率は、北海道や九州・沖縄で高い比率となった。「沖縄」では約6割が『レンタカー』を利用した。『路線バス』は、例年同様、特に「京都」での利用率が高く、全体よりも15ポイント以上高い。「奈良」「福岡」も、全体を10ポイント以上上回る高い利用率であった。『タクシー・ハイヤー』は、「東京」「石川」「京都」「福岡」において、多く利用された。

⑤旅行先と宿泊施設(表I-2-9)

最も多い宿泊施設は5.5割を占める『ホテル』であり、以下、『旅館』が3割強、『実家・親戚・知人宅』『民宿・ペンション・ロッジ』が0.5割で続く。前年、前々年と比べ、『ホテル』利用率が減少した一方で、『旅館(比較的規模小)』『キャンプ・オートキャンプ』の利用率は増加した。

都道府県別にみると、33都道府県で『ホテル』の利用率が最も高くなっており、特に、「東京」「京都」「大阪」「沖縄」は7割を超え、全体と比べて15ポイント以上高い利用率となった。「東京」「京都」「大阪」は『ビジネスホテル』『シティホテル』の利用率がそれぞれ3~4割を占めるのに対し、「沖縄」は『リゾートホテル』の利用率が5割を占める。その他、『リゾートホテル』は「千葉」「三重」、『ビジネスホテル』は「奈良」「広島」の利用率の高さも顕著であった。

一方、「山形」「群馬」「新潟」「岐阜」「鳥取」「山口」「佐賀」は『旅館』の利用率が5割を超え、『旅館』利用率が『ホテル』利用率を上回った。『実家・親戚・知人宅』は、「岩手」「宮城」「東京」「愛知」「大阪」「広島」における利用率が全体よりも5ポイント以上上回った。『キャンプ・オートキャンプ』は、「埼玉」「山梨」「愛媛」「宮崎」での利用率が1割となり、全体平均より5ポイント以上高くなった。『民宿・ペンション・ロッジ』は、「福井」「長野」「徳島」「鹿児島」「沖縄」で利用率1割となり、全体平均より5ポイント以上高い。

⑥旅行先と宿泊数(表I-2-10)

宿泊数については、近隣旅行の増加とも関連して『1泊』率が前年に比べて3.8ポイント増加、前々年と比べて15.1ポイント増加し、65.8%を占めた。『1泊』と『2泊』をあわせると全体の85.9%を占め、宿泊数の短縮化がさらに進んだ。

都道府県別にみても、「沖縄」を除く全ての都道府県において『1泊』の割合が最も高い。1泊率が7割を超えるのは33県(前年27県、前々年16県)で、特に、「福井」「滋賀」の1泊率は9割を

超えた。一方、「北海道」「沖縄」は他の都府県に比べて宿泊数が長くなっており、3泊以上の割合がそれぞれ2.5割、4.5割を占め(全体の3泊以上の割合は14.1%)、平均宿泊数はそれぞれ2.06泊、2.49泊であった。なお、「北海道」は他都府県に比べて宿泊数は長いものの、2021年も旅行者に占める道内居住者が半数を占めており、コロナ禍前(27.1%)と比べて1泊率の高まりが続いた。

⑦旅行先と現地で楽しんだ活動(表I-2-11)

全体でみると、最も楽しみにしていたことと同様に『温泉』を楽しんだ旅行者が最も多く、半数弱を占めた。前年からは1.4ポイント、コロナ禍前の前々年から8.7ポイント増加した。全体として多い活動は、以下、『自然や景勝地の訪問』『現地グルメ・名物料理』『まち並み散策・まち歩き』『ショッピング・買い物』『歴史・文化的な名所の訪問』と続き、これらの活動実施率は2割を超えた。しかしながら、近隣旅行の増加、宿泊日数の短縮化の影響などもあり、全体的に実施率は低下傾向にあり、上位では『温泉』と『ドライブ』以外の活動は前年マイナスとなった。上位10位のなかで前年から順位が入れ替わったのは、『ショッピング・買い物』と『歴史・文化的な名所の訪問』のみであった。

『温泉』は前述の通り、前々年から8.7ポイント増、最多の活動となったのは33道県(前々年22県)と、コロナ禍において大幅に増加した。「秋田」「山形」「福島」「栃木」「群馬」「岐阜」「静岡」「佐賀」「熊本」「大分」では実施率が6割を超え、かつ、全体と比べて15ポイント以上高い。

『自然や景勝地の訪問』は前年より3.7ポイント減、最多の活動となったのは「福井」「徳島」「高知」「鹿児島」「沖縄」の5県(前年5県)。トップになる県はそれほど多くはないが、いずれの都道府県においても人気の活動となっている。「徳島」「高知」「沖縄」では実施率が5割を超え、かつ、全体と比べて15ポイント以上高い。

『現地グルメ・名物料理』は前年より0.1ポイント減となり、最多の活動となったのは、「東京」「愛知」「大阪」「広島」「香川」「福岡」の6都府県であった(前年8都府県)。伊勢えびや松阪牛などが名物の「三重」では、『温泉』に次いで多い活動であり、全体と比べて10ポイント以上高い。

『まち並み散策・まち歩き』は前年より2.3ポイント減となり、最多の活動となった都道府県はなかった(前年も0)。全体との比較でみると、飛騨高山や郡上八幡などに代表される「岐阜」、祇園や三年坂などのある「京都」で特に特徴的な活動であった。

『ショッピング・買い物』は前年より0.5ポイント減となり、最多の活動となった都道府県はなかった(前年も0)。「山形」「千葉」「東京」「長野」「三重」「福岡」では、全体平均より5ポイント以上高い実施率であった。

『歴史・文化的な名所の訪問』は前年より2.8ポイント減となり、この活動が最多の活動となった地域は、世界文化遺産にも登録されている古都「京都」「奈良」の2府県であり(前年2府県)、活動実施率は6割を占めた。出雲大社が位置する「島根」においても、『温泉』に次いで多い活動であり、半数弱が楽しんだ。『まち並み散策・まち歩き』および『歴史・文化的な名所の訪問』

表 I-2-8 旅行先(都道府県)別の旅行先での交通手段(複数回答)

(単位：%)

交通手段 旅行先	自家用車	列車	レンタカー	路線バス	タクシー・ ハイヤー	貸切バス・ 定期観光バス	飛行機	観光客向け の巡回バスなど	船(フェリー、 観光船、屋形船 など)	観光客向け の巡回バスなど	レンタサイクル	その他	交通機関は 利用しなかった	サンプル数
全体	49.3	20.4	9.7	9.4	4.9	2.4	2.1	2.0	1.8	0.8	0.9	14.4	(5803)	
前年	46.5	21.1	10.9	11.1	5.8	4.4	4.2	2.3	2.9	1.1	1.3	13.2	(6511)	
前々年	37.5	29.7	13.6	14.1	8.5	7.3	8.1	2.9	3.9	1.4	1.1	7.2	(9364)	
北海道	34.0	25.2	18.3	14.1	4.6	6.1	7.1	1.7	0.6	0.7	0.6	13.3	(390)	
青森県	44.5	23.9	8.4	19.3	8.8	1.7	2.1	2.8	4.4	0.0	3.3	14.6	(86)	
岩手県	58.8	13.4	9.3	8.4	5.1	1.0	0.5	1.8	5.4	1.0	0.9	18.8	(144)	
宮城県	50.5	18.8	16.7	11.6	7.7	1.7	3.0	2.0	4.5	1.1	0.0	12.5	(175)	
秋田県	69.3	18.5	10.7	10.5	5.4	5.4	1.9	0.9	3.7	2.4	0.0	5.2	(80)	
山形県	59.4	15.3	15.1	10.8	4.5	5.4	0.8	2.6	5.1	1.4	0.0	8.7	(95)	
福島県	58.5	11.1	7.1	8.7	6.2	3.2	1.0	0.0	3.8	1.9	0.6	18.0	(141)	
茨城県	60.1	10.0	6.5	4.9	3.0	3.5	1.9	0.0	0.0	0.8	0.0	13.9	(70)	
栃木県	65.8	11.8	4.4	7.4	2.0	1.5	1.2	1.4	2.3	0.0	0.0	11.7	(194)	
群馬県	69.8	5.3	7.3	5.7	1.3	1.2	1.3	0.0	3.9	0.0	1.8	12.1	(185)	
埼玉県	58.8	21.4	6.1	3.0	3.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	15.0	(78)	
千葉県	47.0	30.9	6.3	6.8	4.2	3.1	1.3	0.4	3.8	0.6	0.0	11.7	(240)	
東京都	14.4	68.4	3.3	10.7	12.0	1.5	4.1	2.5	1.9	1.4	0.5	11.0	(334)	
神奈川県	41.2	31.6	6.3	14.8	8.2	2.4	0.5	5.1	3.9	1.2	0.3	10.4	(311)	
新潟県	54.8	9.9	6.5	8.0	3.9	4.0	0.0	0.0	4.3	1.4	0.8	20.1	(166)	
富山県	45.2	22.7	5.3	5.5	4.2	12.2	1.8	3.0	5.0	1.6	2.8	16.8	(82)	
石川県	44.5	13.8	14.8	12.4	10.4	6.1	1.5	0.6	1.6	0.0	2.4	11.2	(144)	
福井県	53.0	18.1	7.2	12.8	2.7	6.1	0.0	1.0	3.4	2.6	1.5	14.8	(88)	
山梨県	61.3	8.4	7.4	5.2	3.3	3.9	1.2	1.4	2.2	0.0	1.2	15.2	(173)	
長野県	62.3	12.4	5.2	6.8	4.6	5.8	0.8	0.7	3.2	0.8	2.6	11.8	(320)	
岐阜県	54.2	14.4	3.3	8.4	5.5	5.5	0.0	1.2	2.2	0.5	1.5	20.0	(127)	
静岡県	52.7	13.8	9.9	7.8	5.4	1.5	0.6	2.2	0.8	0.9	1.0	15.4	(373)	
愛知県	58.1	26.1	3.0	7.1	4.9	2.1	2.8	3.5	1.2	1.2	0.5	12.2	(189)	
三重県	60.4	17.6	4.0	7.4	2.2	2.7	2.3	2.1	0.9	0.0	2.1	12.6	(164)	
滋賀県	58.7	22.0	5.4	10.7	1.6	0.8	1.1	6.4	1.0	3.3	0.0	16.3	(94)	
京都府	29.9	51.4	6.5	26.5	14.6	3.9	3.2	3.6	3.7	0.9	1.1	7.6	(283)	
大阪府	20.5	63.3	7.6	11.0	6.8	2.0	7.3	1.8	1.2	0.6	0.0	12.2	(247)	
兵庫県	46.7	26.4	5.7	9.3	4.5	1.0	2.7	2.1	1.6	0.0	1.8	19.9	(231)	
奈良県	39.3	33.1	6.1	20.4	3.1	6.1	3.9	2.7	3.1	0.0	2.3	14.6	(71)	
和歌山県	60.5	15.6	9.4	8.4	5.5	2.8	3.1	4.9	4.5	0.0	1.0	7.6	(104)	
鳥取県	67.5	13.8	14.8	7.5	4.9	0.0	2.1	4.2	0.9	0.0	0.0	9.5	(63)	
島根県	49.4	20.8	22.3	16.0	7.2	4.1	0.0	2.9	1.6	0.0	0.0	8.9	(72)	
岡山県	57.1	20.5	12.7	10.0	4.1	1.7	2.4	10.5	0.0	1.4	0.0	10.4	(93)	
広島県	37.3	29.1	10.1	15.1	3.6	2.2	1.8	11.3	1.5	0.5	1.9	15.6	(151)	
山口県	63.4	11.8	8.3	9.2	2.3	1.0	2.9	3.3	1.5	0.0	0.9	12.0	(105)	
徳島県	56.5	14.8	11.5	4.7	0.0	5.3	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	8.9	(57)	
香川県	65.9	10.5	12.8	1.6	0.9	3.6	0.9	3.4	0.0	1.1	0.0	7.9	(83)	
愛媛県	56.6	11.8	13.8	5.9	5.7	5.6	1.9	3.7	0.0	0.9	0.9	14.3	(79)	
高知県	46.0	13.1	22.2	11.8	0.0	5.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	14.5	(52)	
福岡県	34.7	36.0	19.0	20.1	10.5	0.0	3.1	3.2	0.7	1.9	0.9	10.4	(199)	
佐賀県	57.5	13.1	19.9	6.3	4.3	1.8	4.5	3.9	0.0	4.5	0.0	8.0	(55)	
長崎県	57.1	17.5	11.0	5.8	4.5	1.8	4.1	6.8	2.3	2.3	1.2	11.4	(109)	
熊本県	68.7	8.1	9.6	4.3	6.1	1.2	3.0	3.1	1.1	1.9	1.2	9.6	(118)	
大分県	60.0	5.9	17.0	8.5	4.5	0.0	1.7	3.9	0.0	2.2	0.0	12.0	(163)	
宮崎県	74.4	3.3	11.4	3.0	2.1	0.0	0.9	2.1	0.0	0.0	0.0	8.8	(63)	
鹿児島県	47.7	7.3	24.9	6.1	7.8	2.0	3.1	5.7	1.1	0.6	1.0	9.2	(105)	
沖縄県	10.4	16.7	58.8	12.4	9.0	4.4	12.2	6.0	1.0	1.9	1.4	4.1	(183)	

(注)1回の旅行につき、複数の旅行先(都道府県)を選択したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

表 I-2-9 旅行先(都道府県)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

旅行先	ホテル			旅館		実家・親戚・知人宅	民宿・ペンション・ロッジ	オートキャンプ・キャンプ	別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	公共の宿	ゲストハウス	民泊	その他	サンプル数		
	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	旅館(比較的規模大)	旅館(比較的規模小)											
全体	55.0	23.3	19.7	14.2	30.4	16.7	14.3	6.1	3.8	3.1	2.5	2.1	1.1	0.5	1.6	(5803)
前年	56.8	23.3	20.6	15.4	31.7	18.3	14.2	5.2	4.6	1.9	2.8	1.6	-	-	1.9	(6511)
前々年	62.2	22.9	24.3	19.4	27.0	16.9	10.8	7.4	4.2	1.7	2.5	1.8	-	-	1.8	(9364)
北海道	68.9	26.7	25.0	22.8	25.5	15.6	10.6	6.7	2.7	2.2	0.6	0.5	1.2	1.6	0.5	(347)
青森県	57.7	22.9	22.7	12.1	28.7	20.8	7.9	8.1	2.6	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	(50)
岩手県	35.6	20.2	7.1	8.3	46.3	26.6	19.7	13.2	3.7	4.0	0.5	2.5	1.6	0.0	1.3	(102)
宮城県	45.2	14.3	23.0	9.6	43.0	29.6	13.9	11.5	0.0	0.6	0.6	2.2	0.0	0.0	1.1	(125)
秋田県	38.7	26.3	3.4	9.0	47.0	23.3	23.7	3.8	2.7	1.5	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	(49)
山形県	27.0	8.7	18.3	1.4	60.2	37.7	22.5	6.7	2.5	1.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	(53)
福島県	38.7	24.5	7.9	7.9	46.0	24.0	22.0	8.7	1.3	3.0	1.5	1.3	2.3	2.3	0.8	(98)
茨城県	45.8	21.8	19.9	9.8	34.9	16.7	18.1	4.4	1.6	5.3	0.0	4.4	0.0	0.0	3.6	(47)
栃木県	51.6	36.7	10.6	4.3	37.3	22.9	14.4	0.9	5.7	1.6	4.1	1.8	0.9	0.0	0.6	(155)
群馬県	31.2	22.2	6.7	2.9	54.9	29.2	25.7	2.2	2.1	3.3	2.9	2.7	1.0	0.0	0.5	(140)
埼玉県	52.5	21.4	25.1	6.0	23.0	9.6	13.3	7.0	3.4	11.0	0.0	4.4	1.6	0.0	0.0	(57)
千葉県	69.5	49.7	9.1	11.6	12.4	5.3	7.1	5.1	1.1	4.5	3.9	1.3	0.7	0.9	2.1	(180)
東京都	81.4	9.3	41.4	32.5	3.3	1.9	1.4	12.8	1.6	1.2	0.0	1.5	1.4	0.0	1.1	(238)
神奈川県	47.2	19.9	14.6	12.8	38.3	18.3	20.5	4.7	1.8	0.6	7.9	0.0	0.6	0.7	3.5	(233)
新潟県	40.1	16.2	16.3	7.5	53.9	30.4	24.5	2.7	2.5	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	(127)
富山県	46.2	8.2	31.8	6.2	46.3	24.2	22.1	0.0	2.6	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	(44)
石川県	43.9	15.7	19.0	9.8	44.7	31.0	13.7	3.8	3.0	2.3	0.7	1.0	2.9	0.0	0.0	(98)
福井県	47.6	19.8	17.3	10.5	27.3	5.1	22.1	6.7	10.4	5.4	0.0	2.7	0.0	0.0	1.3	(56)
山梨県	35.4	22.5	8.9	3.9	25.5	11.7	13.8	4.9	7.1	12.3	5.8	0.8	2.5	0.8	6.6	(122)
長野県	41.4	28.0	8.4	5.0	30.4	14.9	16.4	3.9	11.4	4.9	4.6	2.9	0.0	0.7	2.9	(245)
岐阜県	25.6	15.6	4.7	5.4	61.5	29.3	32.3	1.1	4.1	2.4	0.0	2.1	1.9	1.1	1.3	(71)
静岡県	41.8	28.7	10.0	3.4	39.6	20.7	19.3	4.6	3.2	2.4	7.0	1.4	2.1	0.5	1.6	(304)
愛知県	61.7	16.4	28.3	18.0	16.6	11.0	5.6	12.1	6.0	0.0	0.0	2.7	0.9	0.0	2.0	(146)
三重県	55.9	43.8	7.5	5.2	32.2	16.7	15.5	6.5	0.8	1.1	2.3	1.3	0.0	0.0	2.4	(121)
滋賀県	46.2	32.0	4.5	9.8	26.4	17.7	8.7	5.6	4.0	1.4	9.8	5.6	0.0	0.0	1.1	(54)
京都府	71.7	12.9	26.3	35.8	20.3	7.4	13.4	2.7	1.6	1.9	1.2	0.0	0.9	0.8	0.6	(169)
大阪府	76.1	17.6	29.7	28.7	8.8	8.8	0.0	11.3	2.4	0.5	0.6	0.0	1.2	1.2	0.0	(157)
兵庫県	34.8	14.8	10.9	9.2	42.4	28.4	14.8	5.8	2.7	6.3	2.5	4.5	0.8	0.9	0.6	(165)
奈良県	59.7	7.4	35.1	19.2	22.7	12.7	10.0	3.4	5.8	3.8	2.6	3.4	0.0	0.0	0.0	(39)
和歌山県	40.0	31.2	6.1	3.6	31.2	18.2	15.8	3.1	7.0	2.6	4.5	8.7	1.3	0.0	3.4	(79)
鳥取県	28.9	4.8	4.8	19.3	50.8	35.1	15.7	4.8	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
島根県	41.7	5.7	23.2	12.9	47.6	27.2	20.4	6.2	1.6	0.0	1.7	2.8	2.8	0.0	0.0	(33)
岡山県	52.6	16.0	28.4	8.2	19.5	14.4	5.2	8.8	2.0	7.5	0.0	10.5	3.1	0.0	1.8	(51)
広島県	57.6	8.2	36.5	12.9	20.1	5.0	15.1	11.4	1.0	5.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.8	(94)
山口県	34.0	9.3	23.5	2.6	50.1	30.5	21.1	4.6	1.4	6.5	0.0	2.7	0.0	0.0	2.1	(64)
徳島県	50.3	16.8	18.6	14.9	36.5	20.0	16.5	7.4	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
香川県	43.1	11.7	18.4	13.0	40.8	28.0	12.8	5.7	1.8	0.0	1.8	3.5	3.2	0.0	1.8	(41)
愛媛県	44.1	24.1	5.5	18.1	21.9	8.3	13.6	8.5	5.6	10.8	4.9	4.2	0.0	0.0	3.6	(41)
高知県	59.7	16.7	18.7	24.3	11.2	1.9	9.3	1.9	3.5	5.1	0.0	8.9	0.0	0.0	9.7	(29)
福岡県	68.3	15.2	29.3	25.0	14.1	10.2	3.9	10.4	0.9	4.1	1.0	1.7	1.6	0.0	0.5	(138)
佐賀県	23.0	11.1	6.8	5.1	54.4	11.4	43.0	0.0	2.3	6.4	5.8	8.0	0.0	0.0	0.0	(25)
長崎県	64.5	33.3	18.2	13.0	24.6	14.5	10.1	3.2	3.0	2.3	1.9	2.5	2.8	0.0	0.0	(83)
熊本県	37.6	16.6	15.3	5.7	35.7	10.0	25.7	10.6	4.9	5.1	3.8	1.0	1.9	0.0	3.7	(75)
大分県	49.1	36.7	6.2	9.0	40.4	17.8	25.2	2.9	3.4	0.0	3.6	1.0	0.0	0.0	4.1	(114)
宮崎県	55.5	26.8	14.3	14.4	23.2	9.1	14.0	1.4	7.5	10.1	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	(40)
鹿児島県	54.2	27.5	20.5	7.8	25.0	14.2	10.8	8.2	9.8	3.6	0.0	3.2	0.0	1.2	0.0	(83)
沖縄県	87.7	53.3	17.0	23.9	0.6	0.0	0.6	0.3	9.2	1.6	1.5	0.0	3.4	0.6	0.3	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い
 資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

表 I-2-10 旅行先(都道府県)別の宿泊数

(単位：%)

(単位：泊)

宿泊数 旅行先	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	平均宿泊数	サンプル数
全体	65.8	20.1	7.6	2.7	3.8	1.62	(5803)
前年	62.0	22.9	8.5	3.2	3.4	1.66	(6511)
前々年	50.7	29.2	12.1	3.7	4.4	1.85	(9364)
北海道	47.6	26.3	12.5	5.7	7.9	2.06	(347)
青森県	67.6	26.0	3.8	2.6	0.0	1.42	(50)
岩手県	74.4	10.5	10.2	2.2	2.7	1.50	(102)
宮城県	69.8	16.8	8.0	1.2	4.2	1.58	(125)
秋田県	81.9	11.2	3.1	0.0	3.8	1.36	(49)
山形県	70.7	15.6	7.9	1.9	3.8	1.54	(53)
福島県	74.2	14.8	4.5	3.2	3.4	1.47	(98)
茨城県	87.2	9.9	2.8	0.0	0.0	1.16	(47)
栃木県	83.8	13.1	2.8	0.4	0.0	1.20	(155)
群馬県	84.4	11.6	4.1	0.0	0.0	1.20	(140)
埼玉県	77.8	12.6	8.3	1.3	0.0	1.33	(57)
千葉県	77.7	16.2	3.4	1.5	1.3	1.34	(180)
東京都	66.1	18.0	6.5	5.4	4.0	1.66	(238)
神奈川県	76.5	17.7	2.3	1.1	2.5	1.38	(233)
新潟県	81.2	15.9	1.6	1.2	0.0	1.23	(127)
富山県	80.7	13.9	2.1	0.0	3.4	1.31	(44)
石川県	82.8	12.2	4.9	0.0	0.0	1.22	(98)
福井県	94.5	4.2	0.0	1.3	0.0	1.08	(56)
山梨県	79.2	15.4	5.3	0.0	0.0	1.26	(122)
長野県	62.2	27.6	7.9	1.3	1.0	1.53	(245)
岐阜県	88.8	7.5	2.7	1.1	0.0	1.16	(71)
静岡県	70.8	22.5	2.9	1.8	2.0	1.44	(304)
愛知県	76.1	16.1	3.7	1.5	2.5	1.41	(146)
三重県	82.3	13.6	2.3	0.6	1.2	1.27	(121)
滋賀県	92.7	5.6	1.7	0.0	0.0	1.09	(54)
京都府	58.3	25.5	8.6	3.5	4.2	1.71	(169)
大阪府	62.0	25.4	10.1	0.7	1.8	1.56	(157)
兵庫県	84.5	7.9	4.2	1.8	1.7	1.32	(165)
奈良県	87.4	9.2	1.5	1.9	0.0	1.18	(39)
和歌山県	74.2	20.4	1.7	1.7	2.1	1.38	(79)
鳥取県	85.0	11.7	3.3	0.0	0.0	1.18	(28)
島根県	63.1	36.9	0.0	0.0	0.0	1.37	(33)
岡山県	73.9	21.5	4.6	0.0	0.0	1.31	(51)
広島県	64.2	24.6	3.6	2.5	5.1	1.67	(94)
山口県	85.6	7.4	2.3	2.3	2.4	1.31	(64)
徳島県	81.9	18.1	0.0	0.0	0.0	1.18	(28)
香川県	88.3	4.0	5.8	1.8	0.0	1.21	(41)
愛媛県	63.7	26.0	6.8	3.5	0.0	1.50	(41)
高知県	67.8	8.3	14.7	2.6	6.5	1.74	(29)
福岡県	63.2	26.8	7.4	0.7	1.9	1.54	(138)
佐賀県	89.5	10.5	0.0	0.0	0.0	1.11	(25)
長崎県	75.0	14.3	7.2	1.9	1.6	1.41	(83)
熊本県	72.5	19.4	3.3	1.9	2.9	1.47	(75)
大分県	83.6	11.6	3.5	0.0	1.3	1.24	(114)
宮崎県	79.2	16.8	2.5	0.0	1.4	1.29	(40)
鹿児島県	56.8	23.0	8.7	5.9	5.7	1.87	(83)
沖縄県	22.0	31.4	31.2	10.5	4.8	2.49	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い
 ■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上高い(平均宿泊数については、7泊以上は7泊と仮定して算出)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

(単位：%)

世界遺産訪問	(カヌー、乗馬体験、気球など)	アウトドア体験	祭り・イベント	海水浴・マリンスポーツ	ゴルフ	スポーツ観戦	スキー・スノーボード	スパ・エステ	果物狩り・農林漁業体験	サイクリング	野生動物観察 (クジラ、鳥など)	(陶芸体験、そば打ち体験など)	生活文化体験	産業観光(工場見学、モノづくりの現場見学など)	マラソン・ジョギング	その他	体験プログラム等の参加率	現地ツアー・ 現地ソアラー	サンプル数	現地活動
																				旅行先
2.4	2.3	2.2	2.2	1.9	1.7	1.2	1.1	1.1	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	2.7	4.5	(5803)	全体		
2.9	2.0	2.9	1.9	2.0	1.4	1.5	1.0	1.2	1.2	0.8	0.7	0.9	0.4	2.8	8.0	(6511)	前年			
3.0	2.3	7.1	2.5	2.0	2.9	1.3	1.5	1.8	1.2	1.0	1.3	1.4	0.7	2.3	13.1	(9364)	前々年			
1.6	1.8	0.9	1.0	1.6	0.2	3.1	0.4	0.2	0.6	0.6	0.5	1.3	1.0	3.1	5.5	(347)	北海道			
1.8	3.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	(50)	青森県			
0.0	6.1	1.3	1.3	3.1	1.4	2.5	0.7	2.6	0.0	5.5	0.6	0.0	0.7	1.4	3.8	(102)	岩手県			
2.3	0.0	0.7	0.0	0.0	3.0	0.0	0.8	1.1	0.0	0.6	2.6	0.0	0.0	1.8	2.7	(125)	宮城県			
0.0	0.0	3.4	0.0	1.9	1.5	2.6	3.0	4.6	1.9	0.0	2.0	0.0	0.0	1.9	7.7	(49)	秋田県			
0.0	0.0	1.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.1	1.4	0.0	3.8	2.5	0.0	7.0	(53)	山形県			
1.6	3.1	2.1	1.4	0.0	0.0	2.4	2.2	0.7	0.7	0.6	0.0	0.7	2.0	4.1	1.0	(98)	福島県			
0.0	0.0	1.6	2.8	11.5	0.0	1.2	0.0	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	(47)	茨城県			
5.2	2.4	0.4	0.6	7.0	0.6	1.9	0.5	1.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	4.3	(155)	栃木県			
2.1	2.4	3.8	0.0	2.7	0.0	2.4	0.0	3.2	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	2.5	1.6	(140)	群馬県			
0.0	2.3	2.3	0.0	9.0	2.6	0.0	4.1	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	(57)	埼玉県			
0.0	2.6	0.3	2.5	2.9	3.7	0.0	0.9	1.3	0.7	0.3	2.1	0.0	0.0	6.1	2.2	(180)	千葉県			
0.8	1.6	7.3	0.7	0.6	1.9	0.0	0.2	0.6	1.4	0.2	0.0	0.8	1.4	3.5	3.4	(238)	東京都			
0.7	0.0	1.8	0.6	1.7	1.4	0.6	0.6	0.3	1.2	0.0	0.7	0.0	0.6	1.8	4.2	(233)	神奈川県			
0.0	3.4	2.1	0.8	0.0	1.7	5.1	0.8	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	3.7	3.2	(127)	新潟県			
3.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.3	0.0	2.1	3.3	(44)	富山県			
0.8	1.3	1.3	1.0	2.9	2.3	0.0	0.6	0.0	1.3	0.0	0.8	2.0	2.4	0.0	6.8	(98)	石川県			
1.3	0.0	0.0	5.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	13.8	1.0	(56)	福井県			
0.8	5.1	1.3	0.8	3.4	3.1	0.4	0.8	2.3	0.7	0.0	1.1	0.0	1.3	5.3	0.8	(122)	山梨県			
0.5	4.8	0.5	0.4	1.7	0.5	9.0	1.1	2.9	2.7	1.6	1.5	0.6	1.4	1.5	6.6	(245)	長野県			
4.8	3.5	2.0	1.1	2.6	1.0	1.8	1.0	1.1	5.1	1.1	0.0	0.0	0.0	5.7	8.5	(71)	岐阜県			
0.7	1.6	3.7	2.7	1.2	2.5	0.2	1.5	2.6	0.6	0.2	0.7	0.4	0.2	2.2	1.2	(304)	静岡県			
0.0	1.4	0.7	2.3	1.8	2.6	0.4	2.2	0.9	0.0	2.1	0.4	0.4	1.4	5.4	1.9	(146)	愛知県			
3.2	0.0	1.2	2.4	3.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	2.3	0.0	(121)	三重県			
0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	5.3	(54)	滋賀県			
9.6	0.0	3.8	0.3	0.0	0.3	0.0	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.9	1.1	5.3	(169)	京都府			
0.0	0.0	2.3	0.0	0.4	2.2	0.5	1.8	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	3.8	3.3	(157)	大阪府			
1.7	2.2	3.3	2.2	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.4	2.8	0.9	(165)	兵庫県			
10.2	1.9	1.9	5.8	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	2.3	4.0	(39)	奈良県			
0.7	2.1	3.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	0.0	1.8	1.0	1.7	2.8	(79)	和歌山県			
0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)	鳥取県			
4.5	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	(33)	島根県			
1.8	16.9	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.0	3.6	0.0	1.5	2.6	(51)	岡山県			
9.3	4.4	0.0	1.0	0.8	5.7	0.0	2.8	0.0	0.6	1.9	0.8	1.7	1.0	4.1	1.0	(94)	広島県			
2.9	0.0	0.0	2.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.9	0.0	3.5	2.6	(64)	山口県			
0.0	4.8	2.7	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	(28)	徳島県			
3.5	1.8	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	(41)	香川県			
0.0	10.8	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	(41)	愛媛県			
0.0	5.4	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	(29)	高知県			
1.6	1.7	3.5	0.0	2.5	3.9	0.5	0.0	1.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.5	0.5	2.3	(138)	福岡県			
0.0	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	2.9	(25)	佐賀県			
2.1	3.0	2.6	4.4	1.2	1.9	0.0	1.4	1.9	1.6	0.0	1.9	0.0	0.0	2.0	6.7	(83)	長崎県			
1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	3.1	0.7	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	3.6	(75)	熊本県			
0.6	0.0	2.2	0.9	1.8	2.3	0.0	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.6	3.0	(114)	大分県			
0.0	3.3	3.3	2.3	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	1.5	0.0	0.0	1.9	1.5	(40)	宮崎県			
4.7	6.6	0.0	8.5	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.7	1.9	0.0	1.6	0.0	4.8	10.9	(83)	鹿児島県			
4.9	7.1	0.6	27.0	2.1	0.0	0.0	3.3	0.0	1.9	1.1	0.0	1.4	0.0	4.4	18.7	(165)	沖縄県			

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

は、近畿・中四国地方での実施率が高い活動である。

その他の活動で、都道府県によって特徴が顕著に表れたものは、『観光施設・動物園・水族館』における「和歌山」、『テーマパーク・レジャーランド』における「千葉」「大阪」、『リゾート滞在(海浜)』『海水浴・マリンスポーツ』における「沖縄」、『芸術鑑賞』における「東京」などであった。

また、現地ツアー・オプションツアー・体験プログラムの参加率は全体で4.5%となり、前年から3.6ポイント減、前々年から8.6ポイント減となり、コロナ禍において低位にとどまっている。都道府県別にみると、突出して高い値を示した「沖縄」での参加率が18.7%となったが、前年21.2%、前々年37.7%からは大幅に減少した。

⑧旅行先と旅行費用(表I-2-12)

交通費や宿泊費、飲食代、土産代などを含めた旅行1回1人当たりの総費用について全体でみると、前年同様『1万円以上2万円未満』が最頻値となった。近隣旅行の増加、宿泊数の短縮化などとも関連し、コロナ禍前に比べて旅行費用の減少が続く。

都道府県別にみると、「青森」「岩手」「秋田」「埼玉」「奈良」「佐賀」「宮崎」で消費額2万円未満の割合が過半数を占め、低めの傾向にあった。一方、平均費用が高いのは「北海道」「鹿児島」「沖縄」であった。「沖縄」は『10万円以上』のシェアが4割を占め、他都道府県と比べて圧倒的に高い水準であった。

⑨旅行先と満足度・再来訪意向(表I-2-13)

旅行先での満足度をみると、前年に比べて『大変満足』の比率が1.2ポイント減少し、コロナ禍前の前々年と比べると3.6ポイント減となった。一方、都道府県別の再来訪意向(「1年以内に当該地域を再び訪れたいですか。」)は、前年に比べて『大変そう思う』の比率が1.1ポイント増加した。

満足度の全体でのトップシェアは『満足』であり、ほとんどの都道府県において満足層(『大変満足』+『満足』+『やや満足』)が9割を占める。“観光地における満足度調査で満足層が9割”というのは、決して高い水準ではなく、日本においては標準的な結果であるということが分かる。

再来訪希望層(『大変そう思う』+『そう思う』+『やや思う』)は、6~9割となり、満足度よりも都道府県によって評価は分かれる。「沖縄」「山梨」は、再来訪意向の『大変そう思う』の比率が4割を超えた。

表 I-2-12 旅行先(都道府県)別の旅行費用価格帯

(単位：%) (単位：円)

消費額 旅行先	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上	平均費用 (概数)	サンプル数
全体	10.3	21.1	20.6	12.9	10.7	10.1	6.4	7.9	41,580	(5620)
前年	8.8	21.5	20.1	14.5	11.6	9.9	6.6	7.1	41,133	(6322)
前々年	3.9	13.6	18.0	16.2	13.1	13.1	9.8	12.3	53,444	(9111)
北海道	12.2	19.6	16.0	8.2	9.9	12.9	7.5	13.6	48,948	(335)
青森県	22.0	28.7	14.7	6.8	13.4	5.8	2.7	5.9	30,648	(49)
岩手県	33.2	21.8	9.9	19.6	8.2	1.4	2.7	3.4	25,248	(94)
宮城県	19.4	19.9	21.7	11.4	12.5	7.3	2.5	5.2	34,227	(117)
秋田県	13.6	47.8	13.5	6.5	1.9	6.2	3.1	7.4	31,044	(49)
山形県	11.9	22.0	28.3	9.4	3.1	12.3	6.5	6.6	36,771	(51)
福島県	11.3	21.6	28.7	14.3	8.7	3.8	6.6	5.0	34,632	(97)
茨城県	8.4	38.8	28.2	7.5	6.3	4.9	6.0	0.0	26,758	(47)
栃木県	9.5	35.8	20.4	14.0	11.8	4.8	2.3	1.3	27,645	(148)
群馬県	12.6	26.1	25.1	16.4	9.4	7.8	0.7	2.0	28,706	(135)
埼玉県	12.4	38.4	16.1	9.7	11.0	10.8	0.0	1.6	27,240	(57)
千葉県	14.2	24.4	21.8	11.9	7.6	4.7	6.3	9.0	40,544	(175)
東京都	10.9	16.5	17.5	16.3	13.4	11.5	6.1	7.7	43,531	(227)
神奈川県	7.3	21.7	23.9	11.1	9.2	13.0	5.7	8.3	43,732	(223)
新潟県	12.9	28.7	16.2	7.2	18.1	7.9	4.8	4.2	34,604	(122)
富山県	15.3	33.3	30.4	5.5	0.0	6.1	2.3	7.2	31,651	(40)
石川県	7.7	16.8	21.8	13.5	14.4	11.5	5.2	9.0	44,532	(96)
福井県	15.2	28.4	21.6	15.1	7.9	0.0	6.4	5.3	31,400	(56)
山梨県	14.4	26.0	25.9	15.7	6.5	5.8	2.6	3.1	30,259	(120)
長野県	8.0	17.8	23.8	15.3	9.9	13.5	5.2	6.5	41,438	(236)
岐阜県	8.1	17.5	32.7	16.5	8.4	12.6	2.2	2.0	32,716	(66)
静岡県	5.9	26.6	25.3	13.2	9.3	8.8	8.3	2.6	35,187	(297)
愛知県	17.3	23.4	27.6	7.3	12.0	6.5	3.0	2.8	29,614	(143)
三重県	6.0	30.9	26.2	12.1	5.9	4.2	9.0	5.7	36,789	(120)
滋賀県	4.6	34.0	23.1	14.1	19.1	1.9	1.4	1.8	29,171	(53)
京都府	3.4	13.3	25.5	15.4	11.9	15.1	6.8	8.6	46,775	(164)
大阪府	7.1	30.0	18.7	10.7	7.1	10.7	7.9	7.8	41,225	(152)
兵庫県	18.8	13.5	19.2	20.0	11.6	8.6	5.3	3.0	34,420	(157)
奈良県	22.3	30.2	19.5	9.2	3.8	15.0	0.0	0.0	24,426	(38)
和歌山県	8.6	24.4	19.5	9.2	11.6	11.9	6.7	8.0	42,028	(77)
鳥取県	13.9	28.6	27.2	14.9	2.7	6.1	2.0	4.8	33,050	(28)
島根県	11.2	21.1	18.8	13.1	18.4	0.0	15.6	1.8	38,068	(31)
岡山県	12.7	22.3	17.4	19.3	8.4	13.3	5.2	1.5	33,110	(51)
広島県	16.9	22.7	13.2	16.4	7.7	13.4	4.8	4.9	35,631	(89)
山口県	22.5	26.1	14.8	12.3	13.7	4.6	5.9	0.0	26,995	(62)
徳島県	2.1	22.5	18.7	22.0	17.4	6.3	11.1	0.0	36,883	(28)
香川県	19.6	19.5	25.0	15.9	9.4	5.4	5.3	0.0	27,677	(40)
愛媛県	8.5	6.4	44.3	5.8	12.7	3.7	6.8	11.9	46,197	(41)
高知県	15.6	11.6	21.2	29.8	7.7	5.1	3.5	5.4	34,572	(29)
福岡県	8.1	14.0	25.3	18.5	10.2	9.6	5.5	8.9	42,872	(136)
佐賀県	29.6	26.2	23.8	12.2	0.0	5.8	2.3	0.0	21,101	(25)
長崎県	12.4	24.3	23.1	16.3	14.7	4.3	2.1	2.7	30,984	(82)
熊本県	10.2	29.7	19.9	11.4	3.3	10.4	5.3	9.9	40,399	(72)
大分県	7.0	28.3	22.5	12.6	13.1	6.9	3.8	5.7	36,799	(112)
宮崎県	24.2	32.6	14.2	11.4	11.3	2.5	0.0	3.7	25,822	(40)
鹿児島県	10.1	20.8	15.0	12.0	7.8	13.1	8.1	13.0	49,294	(81)
沖縄県	5.1	9.3	8.0	7.0	6.2	11.1	15.4	37.9	89,776	(156)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

**3 マーケットセグメント
(同行者×ライフステージ) 別の旅行動向**
いずれのセグメントも密を避けた行動が目立つ

ここでは、国内宿泊観光旅行(観光・レクリエーションを目的とする国内宿泊旅行)に絞り、日本人の国内旅行の実態を詳しく見ていく。なお、ここで分析に用いた表データは、全て「JTBF 旅行実態調査」による。

① マーケットセグメントと申し込み時期(表I-2-14)

全体をみると、前年同様、例年に比べて申し込み時期が遅く、旅行が近づいてからの申し込みが多い傾向が続く。『旅行の3か月より前』は、前年は20.7%、コロナ禍前の前々年は30.7%

を占めたが、2021年は17.4%となった。一方、『2週間を切ってから』は30.3%を占めたが、前年は27.6%、前々年19.3%であった。

マーケットセグメント別にも、全体的に前年に比べて申し込み時期が遅めの傾向がみられた。ただし、「3世代家族旅行」「子育て後の男性による友人旅行」「男性のひとり旅」では、『旅行の1か月前まで』に申し込み割合が、前年に比べて増加した。

旅行が近づいてからの申し込みが多いのは「カップルでの旅行」「ひとり旅(男女ともに)」であり、『旅行の1か月前を切ってから』申し込み割合は5割超、『1週間以内』の割合も1割を超えており、他セグメントに比べ、旅行直前に申し込んでいた。

逆に、余裕を持って申し込む「3世代家族旅行」「子育て後の友人旅行(男女ともに)」では『旅行の1か月前まで』の申し込みが6割以上を占めた。

表I-2-14 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行申し込み時期

(単位: %)

マーケットセグメント	申し込み時期										サンプル数
	1年以上前	半年～1年前	3～5か月前	1～2か月前	3～4週間前	1～2週間前	4～6日前	2～3日前	出発前日	当日/出発後	
全体	0.8	3.5	13.0	34.1	18.2	18.7	4.7	4.6	1.3	1.1	(5595)
前年	1.0	4.9	14.9	33.7	18.0	16.6	4.5	4.0	1.3	1.2	(6286)
前々年	1.2	7.8	21.7	34.9	15.1	11.2	3.3	2.8	1.0	1.1	(8953)
家族旅行	1.0	4.6	14.4	37.5	17.9	16.0	3.2	3.8	1.0	0.6	(1606)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	0.2	3.3	13.7	41.0	18.4	12.7	2.5	5.4	1.9	1.0	(313)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	1.3	5.6	13.8	36.7	18.4	15.1	2.8	4.5	1.1	0.8	(687)
18歳以上のみの家族旅行	1.1	4.1	15.6	36.7	17.1	18.7	4.1	2.0	0.4	0.3	(606)
3世代家族旅行*	1.3	5.9	15.3	43.1	18.3	12.4	1.2	1.7	0.5	0.3	(325)
夫婦・カップル旅行	0.7	2.9	12.8	32.6	19.3	19.9	4.8	4.9	1.1	1.1	(2184)
カップルでの旅行	1.1	2.8	9.7	34.1	18.6	20.2	4.8	5.9	1.1	1.7	(625)
夫婦での旅行(子どもなし)	0.7	4.5	12.4	30.5	20.0	21.1	3.2	5.7	0.6	1.3	(545)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	0.7	5.0	15.8	35.0	18.0	20.9	0.0	4.6	0.0	0.0	(83)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	0.4	1.8	14.7	32.6	19.6	18.9	6.1	3.7	1.4	0.6	(931)
友人旅行	0.5	3.7	13.3	37.6	19.2	16.8	3.3	3.6	1.2	0.9	(793)
未婚男性による友人旅行	1.1	4.0	11.1	35.9	16.8	18.9	4.0	4.6	2.0	1.6	(191)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.0	6.0	8.0	40.8	21.7	11.9	2.9	3.8	1.7	3.2	(45)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	2.3	2.8	6.7	48.3	25.2	13.0	0.0	1.6	0.0	0.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	4.4	17.1	39.3	12.3	19.2	5.3	1.4	0.9	0.0	(103)
未婚女性による友人旅行	0.0	1.9	10.9	36.6	21.9	19.7	2.3	4.5	1.8	0.4	(172)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	1.3	2.2	12.2	35.0	24.6	18.9	2.9	1.7	0.0	1.2	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	0.0	0.0	15.3	13.1	23.4	39.0	0.0	9.2	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	5.0	19.7	38.2	18.8	10.0	3.4	3.8	0.6	0.5	(165)
ひとり旅	1.2	2.6	11.3	28.8	15.3	22.3	7.6	6.2	2.3	2.2	(929)
男性のひとり旅	1.4	3.1	10.5	28.0	13.7	23.5	7.9	7.3	2.3	2.3	(610)
女性のひとり旅	0.9	1.7	12.9	30.4	18.2	20.1	7.0	4.3	2.4	2.1	(319)

(注) 表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■ 全体の比率より15ポイント以上高い

■ 全体の比率より10ポイント以上高い

■ 全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

②マーケットセグメントと出発月・出発日(表I-2-15)

出発月は、例年『8月』が最も多く、『2月』が最も少ないが、2021年もコロナ禍の影響を大きく受け、例年とは異なる傾向であった。感染状況が比較的落ち着いた『10～12月』が増加し、4割弱を占めた。一方、2回目の緊急事態宣言が発出された『1～2月』はあわせても1割を下回った。マーケットセグメント別にみると、コロナ禍においても、「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」「3世代家族旅行」は例年同様、学校が夏休みとなる『8月』が多い。「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「18歳以上のみの家族旅行」では『11～12月』が多かった。

出発日は、『ゴールデンウィーク』は、前年は初めての緊急事態宣言が発出されステイホームが呼びかけられていたこともあり、前年に比べて2.5ポイント増加した。『月～木曜日』の比率は前年に比べると1.0ポイント減だが、コロナ禍前の前々年からは2.8ポイント増となり、密を避けた平日旅行が意識された結果となった。出発日はマーケットセグメントによる差が大きく、コロナ禍においても、やはり「家族旅行」の出発日は子どもの年齢に大きく左右され、『夏休み』のシェアが他セグメントに比べて大きい。「子育て後の夫婦での旅行」などでは『月～木曜日』出発の旅行が4割を超えた。

表I-2-15 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別に出発月・出発日

(単位：%)

マーケットセグメント	出発月												出発日					サンプル数		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	夏休み	ゴールデンウィーク	年末年始	土曜日	日曜・祝日		月～木曜日	金曜日
全体	3.5	3.4	9.4	5.4	7.1	5.8	8.7	11.2	7.1	10.1	13.4	14.9	7.7	3.3	4.8	21.4	13.7	34.5	14.6	(5803)
前年	10.2	10.6	7.8	1.7	1.8	4.2	6.9	12.6	11.4	10.1	14.2	8.5	6.4	0.7	5.1	19.0	19.6	35.4	13.7	(6511)
前々年	5.8	5.6	9.0	7.6	11.5	7.5	7.9	14.3	9.1	6.8	7.8	7.1	8.0	6.7	4.2	17.8	16.1	31.7	15.5	(9364)
家族旅行	4.1	2.6	9.5	5.3	6.2	4.2	9.1	15.0	5.3	9.1	13.7	15.9	14.1	3.9	7.4	25.7	13.3	22.6	13.0	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行 (小中高生を含まない)	3.8	1.8	8.1	6.0	7.5	5.8	7.1	11.0	7.1	9.7	16.1	16.0	10.7	4.5	7.0	27.5	12.8	21.6	15.9	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行 (乳幼児連れも含む)	3.4	1.9	10.2	5.4	6.7	3.0	11.3	20.6	3.0	8.4	11.8	14.3	20.1	5.1	7.5	28.5	12.7	15.7	10.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	5.1	3.7	9.5	4.8	5.0	4.8	7.6	10.6	7.1	9.5	14.6	17.8	9.0	2.2	7.4	21.6	14.2	31.1	14.6	(626)
3世代家族旅行*	3.9	1.7	10.4	4.6	6.2	4.1	11.2	17.3	5.0	6.4	14.0	15.2	18.1	3.3	5.6	28.3	16.1	18.0	10.5	(352)
夫婦・カップル旅行	3.2	3.9	9.0	5.6	8.5	6.4	8.2	9.6	7.5	10.5	13.3	14.1	5.0	3.3	3.5	20.3	14.1	39.2	14.6	(2245)
カップルでの旅行	3.5	3.7	8.3	5.9	9.5	5.8	7.3	11.7	6.9	11.3	10.3	15.7	6.0	4.6	4.8	25.2	13.4	28.0	18.0	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	3.1	3.5	9.9	5.2	7.6	6.8	8.0	10.8	7.7	9.4	14.0	13.9	7.3	4.3	4.4	25.9	12.5	28.9	16.7	(563)
子育て中の夫婦での旅行 (末子が18歳未満)	3.2	0.9	7.8	4.1	9.7	2.7	9.5	14.1	8.7	10.9	20.0	8.5	5.9	1.8	0.6	20.3	22.4	37.0	12.1	(85)
子育て後の夫婦での旅行 (末子が18歳以上)	3.0	4.5	9.0	5.8	8.3	7.0	8.8	7.1	7.7	10.7	14.4	13.6	2.9	2.0	2.4	13.7	14.8	53.0	11.2	(951)
友人旅行	3.0	3.4	9.8	4.9	6.9	6.6	8.6	10.4	8.2	9.6	13.4	15.1	5.6	3.6	3.6	19.2	14.3	40.3	13.4	(828)
未婚男性による友人旅行	3.4	3.6	12.7	3.9	7.9	5.5	11.7	14.1	8.1	9.6	7.5	11.9	11.5	6.2	6.2	21.3	14.5	24.9	15.3	(207)
既婚男性による友人旅行 (子どもなし)	3.4	4.7	9.1	9.6	5.7	6.3	8.4	16.6	5.8	8.3	16.1	6.0	5.5	6.2	5.3	25.2	12.1	39.6	6.1	(48)
子育て中の男性による友人旅行 (末子が18歳未満)	5.8	1.6	3.1	1.2	5.9	1.6	10.8	19.9	4.0	14.2	13.2	18.6	5.7	2.0	8.5	31.8	3.2	31.9	16.9	(47)
子育て後の男性による友人旅行 (末子が18歳以上)	3.6	2.1	11.7	4.3	7.7	10.6	8.5	2.5	7.0	12.4	14.5	15.0	1.9	2.6	2.9	17.3	9.7	47.9	17.8	(106)
未婚女性による友人旅行	2.4	3.7	10.1	4.8	8.6	7.5	8.4	12.5	9.7	5.1	12.0	15.2	7.4	3.7	2.2	18.8	14.2	43.0	10.8	(181)
既婚女性による友人旅行 (子どもなし)	0.0	6.2	7.3	2.9	4.5	7.5	11.7	0.0	9.2	13.2	20.5	16.9	1.7	3.0	2.4	16.6	16.0	51.1	9.2	(60)
子育て中の女性による友人旅行 (末子が18歳未満)	0.0	7.4	7.2	5.7	18.1	7.5	0.0	0.0	9.2	0.0	30.6	14.4	0.0	9.0	0.0	74.3	0.0	9.2	7.5	(10)
子育て後の女性による友人旅行 (末子が18歳以上)	3.2	2.7	7.8	6.8	4.3	5.4	4.2	8.7	8.8	11.0	17.4	19.8	0.8	0.5	1.2	10.4	21.1	51.8	14.2	(169)
ひとり旅	3.8	3.9	10.4	5.7	5.4	6.6	8.9	9.2	8.7	10.7	12.2	14.5	4.6	2.1	4.7	19.5	12.5	38.7	17.9	(963)
男性のひとり旅	3.7	4.1	9.6	6.7	6.6	7.0	9.0	8.8	7.4	10.6	12.4	13.9	4.3	2.3	4.0	23.7	12.6	34.9	18.1	(635)
女性のひとり旅	4.2	3.4	12.0	3.7	3.1	5.7	8.6	10.1	11.0	10.9	11.8	15.5	5.3	1.6	6.1	11.3	12.1	46.0	17.5	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

③マーケットセグメントと交通手段

●旅行先までの主な交通手段(表I-2-16)

コロナ禍において旅行先までの主な交通手段はその影響を大きく受け、『列車』や『飛行機』などの公共交通機関の利用率が大幅に減少、『自家用車』の利用率が高まったが、2021年もその傾向が続いた。『自家用車』は、前年と比較して3.6ポイント増、コロナ禍前の前々年と比較すると18.3ポイント増と大幅に増加した。一方、公共交通機関は『列車』対前年1.8ポイント減・対前々年6.2ポイント減、『飛行機』対前年1.7ポイント減・対前々年10.2ポイント減となった。

「家族旅行」は『自家用車』利用率が他セグメントに比べて高く、特に「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」では8割弱を占めた(前年7.5割、前々年6割弱)。子どもが大きくなるにつれ、『自家用車』利用率が減少し、「3世代家族旅行」になると、再び『自家用車』利用率が高まるという傾向は例年同様であった。「夫婦・カップル旅行」も『自家用車』がトップシェアを占め、前々年46.9%、前年61.5%から66.6%と増加が続いた。「友人旅行」は、「未婚女性による友人旅行」において『列車』利用が最も多く、それ以外のセグメントでは『自家用車』利用が最も多い。「ひとり旅」では『列車』『飛行機』の利用率が他セグメントに比べ高い。

表 I-2-16 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行先までの主な交通手段 (単位: %)

旅行先までの主な交通手段 マーケットセグメント	自家用車			列車			飛行機			バス・貸切バス	レンタカー			その他	サンプル数
	高速道路利用	利用なし	高速道路	有料特急利用	新幹線・有料特急利用なし	新幹線・有料	JAL・ANA利用	JAL・ANA以外利用	JAL・ANA		高速道路利用	利用なし	高速道路		
全体	58.2	40.9	17.3	21.1	14.5	6.6	12.5	8.6	3.9	3.8	3.3	2.7	0.6	1.1	(5803)
前年	54.6	39.9	14.6	23.0	16.0	7.0	14.2	11.1	3.1	4.0	3.2	2.8	0.4	1.0	(6511)
前々年	39.9	33.2	6.7	27.3	22.0	5.4	22.7	17.7	5.0	6.4	2.7	2.2	0.5	1.0	(9364)
家族旅行	71.9	54.2	17.7	14.3	10.6	3.7	8.4	6.1	2.3	1.4	3.5	3.0	0.5	0.5	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	77.8	59.3	18.5	8.0	6.2	1.8	9.5	7.4	2.2	0.3	4.3	3.5	0.9	0.0	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	77.3	57.4	19.9	10.5	8.0	2.5	6.9	5.4	1.5	1.5	3.5	3.0	0.5	0.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	62.7	47.9	14.8	21.9	16.0	6.0	9.4	6.2	3.2	1.9	3.2	2.8	0.4	0.9	(626)
3世代家族旅行*	72.4	52.4	20.0	12.2	9.2	3.0	9.8	8.0	1.8	0.2	4.8	3.9	0.9	0.6	(352)
夫婦・カップル旅行	66.6	46.0	20.6	17.0	11.2	5.7	10.4	7.6	2.8	2.6	3.1	2.3	0.8	0.4	(2245)
カップルでの旅行	53.8	38.7	15.1	25.4	15.8	9.6	10.3	7.8	2.5	4.4	5.6	4.4	1.2	0.5	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	58.9	42.0	17.0	18.9	11.7	7.3	14.9	10.4	4.5	2.2	4.6	3.2	1.5	0.4	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	74.4	62.2	12.3	16.3	10.1	6.2	8.4	6.0	2.4	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	79.1	51.8	27.3	10.2	8.0	2.2	7.9	5.9	2.0	1.8	0.7	0.5	0.2	0.4	(951)
友人旅行	47.9	32.4	15.5	26.9	16.3	10.6	12.2	7.4	4.8	4.8	6.1	5.0	1.0	2.1	(828)
未婚男性による友人旅行	43.3	27.2	16.0	27.9	16.7	11.2	12.0	7.9	4.1	5.5	9.4	9.1	0.4	1.9	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	64.3	50.2	14.1	17.3	10.9	6.4	10.0	2.4	7.6	1.9	6.4	2.8	3.6	0.0	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	59.7	55.9	3.8	13.1	13.1	0.0	19.1	13.1	5.9	3.3	0.0	0.0	0.0	4.8	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	71.0	55.7	15.3	10.9	8.1	2.8	8.1	6.9	1.2	1.9	3.4	3.4	0.0	4.6	(106)
未婚女性による友人旅行	28.7	21.1	7.5	41.5	22.4	19.1	12.2	5.6	6.6	5.7	10.4	8.3	2.1	1.6	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	46.0	31.4	14.6	32.0	19.4	12.6	14.1	6.6	7.5	2.4	0.0	0.0	0.0	5.4	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	55.6	39.3	16.3	35.4	29.6	5.7	9.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	51.8	24.4	27.3	24.4	14.8	9.6	13.2	8.9	4.3	7.3	3.0	1.8	1.2	0.3	(169)
ひとり旅	24.4	13.7	10.6	37.6	27.5	10.1	24.9	16.5	8.4	9.4	1.2	1.0	0.2	2.4	(963)
男性のひとり旅	29.1	16.5	12.5	36.0	26.2	9.9	22.4	15.2	7.2	7.9	1.8	1.4	0.4	2.7	(635)
女性のひとり旅	15.3	8.3	6.9	40.7	30.0	10.7	29.7	18.9	10.8	12.3	0.2	0.2	0.0	1.9	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTFB 旅行実態調査」

●旅行先での主な交通手段(表I-2-17)

旅行先での交通手段は、旅行先までの交通手段同様、ほとんどのセグメントにおいて、前年と比較して『自家用車』が増加、『列車』や『路線バス』などの公共交通機関が減少した。

「家族旅行」での『自家用車』利用率はいずれのセグメントでも半数を超えて5～6.5割と高く、特に、「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」では6割以上を占めた。「夫婦・カップル旅行」は、「カップルでの旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」の『自家用車』利用率は5割を下回るが、「子育て後の夫婦での旅行」は

7割弱が『自家用車』を利用、前年に比べて10ポイント増加した。「友人旅行」では、「未婚男性・女性の友人旅行」は『列車』、『路線バス』、「子育て後の男性による友人旅行」は『自家用車』、「子育て後の女性による友人旅行」は『貸切バス・定期観光バス』が特徴であった。「ひとり旅」は、4.5割が『列車』を、2割が『路線バス』を利用しており、他セグメントに比べて特徴的な交通手段となっている。なお、他セグメント同様、コロナ禍前と比べると『自家用車』の利用率は10ポイント程度増加している。

表I-2-17 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行先での主な交通手段(複数回答) (単位：%)

旅行先での主な交通手段	自家用車	列車	レンタカー	路線バス	タクシー・ハイヤー	貸切バス・定期観光バス	飛行機	船(フェリー、観光船、屋形船など)	観光客向けの巡回バスなど	レンタサイクル	その他	交通機関は利用しなかった	サンプル数
マーケットセグメント													
全体	49.3	20.4	9.7	9.4	4.9	2.4	2.1	2.0	1.8	0.8	0.9	14.4	(5803)
前年	46.5	21.1	10.9	11.1	5.8	4.4	4.2	2.3	2.9	1.1	1.3	13.2	(6511)
前々年	37.5	29.7	13.6	14.1	8.5	7.3	8.1	2.9	3.9	1.4	1.1	7.2	(9364)
家族旅行	59.2	12.8	9.4	6.1	3.9	1.5	2.4	1.9	1.8	0.6	0.7	15.8	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	64.5	8.9	11.3	2.6	2.9	2.1	3.2	1.6	0.9	0.8	0.3	15.1	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	61.8	9.8	9.6	4.9	2.5	1.4	2.1	2.1	1.2	0.5	0.5	17.5	(720)
18歳以上のみの家族旅行	53.6	18.3	8.3	9.4	5.9	1.4	2.5	2.0	3.0	0.6	1.2	14.3	(626)
3世代家族旅行*	56.8	9.3	13.9	3.4	3.1	1.9	4.0	2.6	1.5	0.4	1.0	18.6	(352)
夫婦・カップル旅行	56.5	15.1	9.6	7.1	5.0	2.2	1.4	1.9	1.6	0.7	0.3	14.1	(2245)
カップルでの旅行	46.1	20.3	12.8	7.3	6.0	0.8	2.0	1.9	2.2	1.6	0.2	15.3	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	48.9	20.7	14.8	10.7	6.6	1.4	1.7	1.7	1.6	0.7	0.5	15.0	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	59.6	15.5	5.9	9.3	9.1	3.3	0.9	2.7	3.3	0.9	1.6	10.9	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	67.8	8.3	4.7	4.6	3.1	3.5	0.8	1.9	0.9	0.1	0.1	13.2	(951)
友人旅行	39.7	22.1	13.0	8.8	5.3	3.5	2.4	2.5	2.5	0.0	1.9	15.6	(828)
未婚男性による友人旅行	34.2	27.5	18.6	9.6	4.6	1.4	4.9	3.3	3.7	0.0	1.4	17.4	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	51.6	12.1	13.5	2.8	0.0	4.4	2.1	0.0	3.2	0.0	4.2	13.1	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	42.0	24.2	6.0	9.2	4.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	25.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	62.3	5.3	11.1	0.0	4.6	2.6	2.9	0.9	1.4	0.0	5.1	11.8	(106)
未婚女性による友人旅行	29.5	33.8	14.4	15.4	4.4	2.7	2.1	1.6	1.8	0.0	0.0	13.2	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	33.0	17.5	11.9	2.6	15.1	2.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	24.3	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	25.7	30.0	21.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3	22.5	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	42.3	17.0	7.7	10.9	6.2	8.6	0.3	5.0	4.2	0.0	1.3	13.0	(169)
ひとり旅	24.5	45.2	7.4	20.7	6.0	3.1	3.3	1.9	1.5	2.4	2.1	11.3	(963)
男性のひとり旅	27.1	43.4	8.1	20.0	5.0	1.1	4.4	2.0	0.7	3.3	2.1	11.9	(635)
女性のひとり旅	19.6	48.8	6.0	22.1	7.9	7.1	1.2	1.6	3.1	0.7	2.1	10.1	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

④マーケットセグメントと旅行で最も楽しみにしていたこと (表I-2-18)

『温泉に入ること』は、「家族旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」「子育て後の女性による友人旅行」で最多となり、「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」は全体に比べて5ポイント以上高い比率となった。前年との比較でみると、特に「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」「未婚女性による友人旅行」などでの増加幅が大きい。

『おいしいものを食べること』は、「カップルでの旅行」「未婚

男性・女性による友人旅行」「男性のひとり旅」などにおいて最多となった。『自然景観を見ること』や『文化的な名所を見ること』はどのセグメントにおいてもトップシェアにはならないものの、比較的上位を占めた。『目当ての宿泊施設に泊まること』は、「3世代家族旅行」で1割を占めた。『スポーツやアウトドア活動を楽しむこと』は「男性による友人旅行」で特徴的な楽しみとなっている。

このように、同行者やライフステージによって、旅行での楽しみは異なる。

表I-2-18 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行で最も楽しみにしていたこと

(単位：%)

マーケットセグメント	温泉に入ること	おいしいものを食べること	自然景観を見ること	文化的な名所(史跡、寺社仏閣など)を見ること	目当ての宿泊施設に泊まること	スポーツやアウトドア活動を楽しむこと	観光・文化施設(水族館や美術館、テーマパークなど)を訪れること	帰省・冠婚葬祭関連・親族や知人訪問	自然の豊かさを体験すること	芸術・音楽・スポーツなどの観劇・鑑賞・観戦	買い物をする	街や都市を訪れること	地域の祭りやイベント	地域の文化を体験すること	その他	サンプル数
全体	23.0	21.4	10.1	7.0	6.6	6.2	5.5	4.4	3.8	3.1	2.8	2.7	0.7	0.6	2.3	(5803)
前年	20.9	20.8	11.1	8.2	5.7	6.0	6.7	4.3	3.7	2.6	2.5	3.6	0.9	0.4	2.4	(6511)
前々年	15.4	18.7	12.2	11.7	2.5	6.2	9.3	4.0	3.2	5.0	2.9	4.0	1.9	1.0	2.1	(9364)
家族旅行	25.5	19.8	8.1	6.2	8.0	5.2	8.2	4.6	4.6	1.8	3.1	1.7	0.5	0.7	2.2	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	28.8	18.1	6.4	3.5	7.9	4.2	10.1	6.9	6.5	0.3	3.8	0.8	0.9	0.2	1.7	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	22.4	17.6	8.4	5.2	9.8	8.2	9.8	3.8	4.9	1.1	2.4	1.2	0.6	1.1	3.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	27.3	23.1	8.6	8.8	6.0	2.2	5.3	4.3	3.1	3.2	3.6	2.9	0.2	0.4	1.1	(626)
3世代家族旅行*	22.5	18.4	9.0	3.8	10.2	5.0	7.2	5.5	7.0	2.2	1.3	1.4	1.0	2.4	2.9	(352)
夫婦・カップル旅行	28.4	23.4	11.1	6.6	6.2	3.1	5.1	3.9	3.8	1.1	2.9	2.6	0.5	0.4	0.9	(2245)
カップルでの旅行	24.6	26.1	11.1	6.2	6.9	1.9	9.0	2.6	2.7	0.5	3.1	3.8	0.7	0.3	0.7	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	28.0	17.7	10.0	7.5	6.2	5.9	5.4	4.6	4.3	1.4	3.3	2.8	0.7	0.6	1.6	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	22.1	32.2	12.2	5.1	2.8	3.4	3.4	2.9	7.0	1.1	4.9	1.2	0.0	1.8	0.0	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	31.9	24.1	11.7	6.5	6.1	2.3	2.3	4.5	4.0	1.4	2.3	1.9	0.2	0.2	0.6	(951)
友人旅行	18.3	24.4	12.0	6.7	5.6	12.1	4.4	1.4	3.0	2.4	2.6	2.4	0.9	0.7	3.0	(828)
未婚男性による友人旅行	14.0	25.0	16.8	8.5	2.6	8.0	5.7	2.5	3.4	1.6	3.4	3.5	1.5	1.7	1.8	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	18.5	24.2	3.1	6.1	4.3	24.7	0.0	1.2	7.8	3.2	0.0	2.1	1.5	0.0	3.2	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	17.9	27.3	15.6	3.5	0.0	19.0	0.0	0.0	2.2	3.3	0.0	3.3	5.0	0.0	2.8	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	18.4	22.7	13.8	5.1	1.4	26.9	2.2	0.0	2.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	(106)
未婚女性による友人旅行	18.3	26.1	6.7	5.1	9.4	5.2	8.3	1.5	2.4	3.8	4.2	3.9	0.0	0.4	4.7	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	12.6	25.9	11.0	8.5	8.1	14.9	8.6	0.0	0.0	4.0	4.8	0.0	0.0	0.0	1.5	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	9.0	23.4	15.3	0.0	30.0	9.2	13.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	26.2	21.8	12.6	8.0	7.2	9.0	0.4	1.6	3.4	1.4	2.6	1.7	0.9	0.9	2.1	(169)
ひとり旅	10.5	17.0	9.5	9.7	5.0	9.9	2.9	8.1	3.0	10.4	2.6	4.8	1.4	0.9	4.4	(963)
男性のひとり旅	11.1	18.9	9.6	11.0	4.6	11.1	1.9	7.4	2.3	7.3	2.5	5.5	1.7	1.2	3.9	(635)
女性のひとり旅	9.2	13.3	9.1	7.3	5.7	7.6	5.0	9.4	4.3	16.5	2.7	3.5	0.8	0.3	5.3	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

⑤マーケットセグメントと宿泊施設(表I-2-19)

前年同様、全てのセグメントにおいて『ホテル』がトップを占めたが、多くのセグメントでその利用率は減少した。『リゾートホテル』は「家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」で、『ビジネスホテル』は「ひとり旅」で、特に、高い利用率となった。

『旅館』の利用率は、「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」「子育て後の夫婦での旅行」「子育て

後の男性による友人旅行」などで高い傾向がみられた。

『実家・親戚・知人宅』は「女性のひとり旅」において、『民宿・ペンション・ロッジ』は「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」において、他セグメントに比べて高い利用率であった。

『キャンプ・オートキャンプ』は、シェアは大きくはないものの、多くのセグメントで利用率が増加した。特に、「男性の友人旅行」で全体に比べて高い傾向にあった。

表 I-2-19 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

マーケットセグメント	ホテル			旅館		実家・親戚・知人宅	民宿・ペンション・ロッジ	キャンプ・オートキャンプ	別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	公共の宿	ゲストハウス	民泊	その他	サンプル数		
	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	旅館(比較的規模大)	旅館(比較的規模小)											
全体	55.0	23.3	19.7	14.2	30.4	16.7	14.3	6.1	3.8	3.1	2.5	2.1	1.1	0.5	1.6	(5803)
前年	56.8	23.3	20.6	15.4	31.7	18.3	14.2	5.2	4.6	1.9	2.8	1.6	-	-	1.9	(6511)
前々年	62.2	22.9	24.3	19.4	27.0	16.9	10.8	7.4	4.2	1.7	2.5	1.8	-	-	1.8	(9364)
家族旅行	50.5	31.2	9.1	12.2	32.1	19.0	13.6	6.2	4.2	4.9	3.4	1.9	0.8	0.7	1.3	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	43.0	33.1	2.9	7.7	36.2	20.9	15.5	8.9	4.2	5.4	4.2	1.7	0.0	1.2	0.6	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	49.3	33.1	7.0	11.1	29.7	18.6	11.8	7.1	4.8	7.5	3.8	1.1	0.9	0.3	2.0	(720)
18歳以上のみの家族旅行	55.9	28.1	14.9	15.8	32.7	18.4	14.6	3.8	3.6	1.6	2.4	2.8	1.0	0.8	1.0	(626)
3世代家族旅行*	48.6	33.2	6.2	10.2	33.9	23.6	11.2	5.2	5.8	2.9	6.7	1.7	0.4	1.2	1.7	(352)
夫婦・カップル旅行	52.4	25.0	15.9	13.7	37.5	20.0	18.4	4.4	3.2	2.0	2.5	2.7	0.4	0.3	1.4	(2245)
カップルでの旅行	59.0	21.7	25.3	15.1	32.2	17.3	15.8	4.9	3.4	2.3	1.4	1.1	0.5	0.4	0.6	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	51.6	21.9	17.3	16.5	37.9	16.7	22.3	5.1	4.1	3.2	1.9	1.8	0.4	0.3	2.8	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	59.8	26.8	15.9	17.2	32.8	20.3	15.2	2.0	1.8	4.2	0.0	2.7	1.8	0.9	1.8	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	47.7	29.0	8.8	10.9	41.2	23.7	18.0	3.8	2.7	1.0	3.8	4.3	0.3	0.1	1.1	(951)
友人旅行	54.0	19.0	22.4	14.4	28.9	16.2	13.3	4.5	6.5	3.7	2.2	1.9	1.9	0.9	1.1	(828)
未婚男性による友人旅行	56.4	14.6	31.0	14.0	24.4	15.2	10.7	7.0	8.7	3.0	0.3	0.4	3.5	0.4	1.9	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	43.2	13.0	22.4	7.7	18.8	10.9	7.9	7.9	17.0	9.3	2.8	0.0	3.1	6.0	3.5	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	58.2	19.2	24.6	14.4	33.4	17.3	16.0	0.0	1.6	6.2	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	46.6	18.8	20.2	8.3	36.0	17.2	18.8	2.1	4.1	8.9	5.0	1.2	0.5	0.0	0.9	(106)
未婚女性による友人旅行	59.7	18.1	21.3	21.9	27.4	13.6	13.8	6.2	1.4	2.4	1.0	1.9	0.5	0.0	0.4	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	49.4	22.6	14.0	12.9	30.8	14.5	16.3	1.3	12.0	1.7	4.0	2.4	2.5	2.2	0.0	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	76.3	30.2	24.3	21.8	16.5	9.0	7.5	0.0	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	51.7	25.0	16.7	12.7	33.4	21.6	12.7	2.9	7.5	0.9	3.9	5.1	0.9	1.2	1.2	(169)
ひとり旅	69.4	8.4	45.4	18.5	12.6	5.6	7.2	11.6	2.4	2.0	0.8	1.1	2.8	0.3	2.9	(963)
男性のひとり旅	72.9	7.4	50.1	18.5	11.7	4.4	7.6	9.1	1.5	2.4	1.3	1.1	1.5	0.3	3.8	(635)
女性のひとり旅	62.7	10.3	36.4	18.4	14.5	7.9	6.5	16.4	4.2	1.3	0.0	1.2	5.2	0.3	1.1	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

⑥マーケットセグメントと宿泊数(表I-2-20)

ほぼ全てのセグメントにおいて『1泊』の割合が高まり、平均宿泊数は減少した。特に減少が大きかったのは、「未婚男性・女性による友人旅行」「18歳以上のみの家族旅行」「3世代家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」などであった。一方、「ひとり旅」は、前年に比べて平均宿泊数は増加した。

平均宿泊数が最も長いのは、例年同様「ひとり旅」であり、2.14泊であった。スケジュール面やコロナ禍における感染拡

大防止面などにおいて1人だと制約が少ないことが、平均宿泊数の長さに影響しているためと考えられる。

逆に、宿泊数が短い傾向にあるのは「家族旅行(1.50泊)」、「友人旅行(1.51泊)」であった。なかでも、「小中高生の子供と一緒に家族旅行(1.46泊)」、「未婚女性による友人旅行(1.36泊)」、「子育て後の男性・女性による友人旅行(1.49泊)」などで短い傾向にあった。

(五木田玲子)

表 I-2-20 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊数

(単位：%) (単位：泊)

マーケットセグメント	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	平均宿泊数	サンプル数
全体	65.8	20.1	7.6	2.7	3.8	1.62	(5803)
前年	62.0	22.9	8.5	3.2	3.4	1.66	(6511)
前々年	50.7	29.2	12.1	3.7	4.4	1.85	(9364)
家族旅行	70.5	17.6	7.2	2.5	2.3	1.50	(1673)
乳幼児の子供と一緒に家族旅行 (小中高生を含まない)	66.3	18.4	7.3	4.9	3.1	1.64	(327)
小中高生の子供と一緒に家族旅行 (乳幼児連れも含む)	72.8	16.2	7.3	1.8	2.0	1.46	(720)
18歳以上のみの家族旅行	70.1	18.8	6.9	2.0	2.3	1.49	(626)
3世代家族旅行*	66.5	19.4	9.9	2.1	2.0	1.56	(352)
夫婦・カップル旅行	67.0	19.4	8.1	2.9	2.5	1.56	(2245)
カップルでの旅行	68.2	20.4	7.4	2.6	1.4	1.49	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	63.0	20.0	10.3	3.2	3.5	1.68	(563)
子育て中の夫婦での旅行 (末子が18歳未満)	71.0	18.8	4.6	1.8	3.8	1.50	(85)
子育て後の夫婦での旅行 (末子が18歳以上)	68.2	18.5	7.7	3.1	2.6	1.55	(951)
友人旅行	68.3	22.7	4.7	0.7	3.6	1.51	(828)
未婚男性による友人旅行	60.3	28.6	9.0	0.0	2.1	1.56	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	68.0	18.2	3.1	2.1	8.5	1.71	(48)
子育て中の男性による友人旅行 (末子が18歳未満)	66.1	17.5	2.2	3.3	10.9	1.81	(47)
子育て後の男性による友人旅行 (末子が18歳以上)	73.3	19.2	1.8	1.5	4.3	1.49	(106)
未婚女性による友人旅行	75.2	20.4	2.7	0.0	1.6	1.36	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	61.8	31.3	2.5	0.0	4.5	1.55	(60)
子育て中の女性による友人旅行 (末子が18歳未満)	91.0	9.0	0.0	0.0	0.0	1.09	(10)
子育て後の女性による友人旅行 (末子が18歳以上)	69.4	20.7	5.5	1.0	3.5	1.49	(169)
ひとり旅	52.3	23.5	10.2	4.2	9.8	2.06	(963)
男性のひとり旅	53.8	22.9	9.8	5.1	8.5	2.02	(635)
女性のひとり旅	49.5	24.7	11.0	2.5	12.3	2.14	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上高い(平均宿泊数については、7泊以上は7泊と仮定して算出)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」